Pioneer

DVD プレーヤー

DV-S5

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口·修理窓口のご案内」と一緒にかならず保管してください。
●業務用には対応していません。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

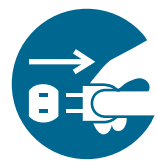
絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

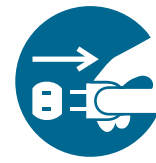
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

⚠ 警告［異常時の処理］

プラグを抜け

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本機で再生できるディスクの種類

● 下表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は下表のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
● 故障などを防ぐため、8cm アダプター（CD 用）は使わないでください。

本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
下表以外のディスクは使用できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		最大再生時間
DVD ビデオ DVD VIDEO	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/片面	1 層	133 分(4.7GB)
		2 層	242 分(8.5GB)
	12cm/両面	1 層	266 分(9.4GB)
		2 層	484 分(17GB)
	DVD ビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/片面	1 層	41 分
		2 層	75 分
	8cm/両面	1 層	82 分
		2 層	150 分
ビデオ CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	VIDEO CD 12cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74 分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20 分
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD 12cm/片面		デジタル音声 74 分
	CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 20 分

上記以外は再生できません。
故障などを防ぐため、上記以外のディスクは再生しないでください。
（例）　DVD オーディオ、DVD-ROM、CD-ROM、リージョン No.（55 ページ、用語を参照）が本機と異なる DVD など

■ディスクの構成について

CD やビデオ CD ではディスクをトラックという単位で分けています。（一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。また更にトラックがインデックスという単位で別れている場合もあります。）

トラック 1　トラック 2　トラック 3　トラック 4　トラック 5

CD

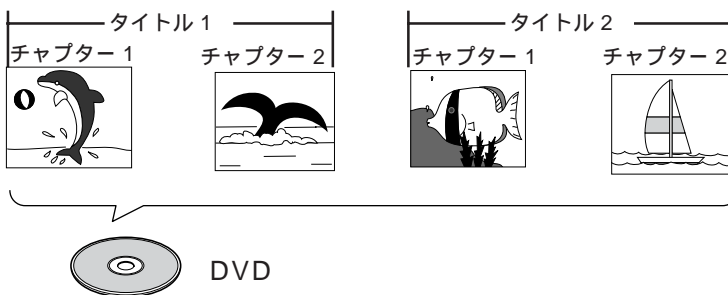
トラック 1　トラック 2　トラック 3　トラック 4

ビデオ CD

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは 1 曲が 1 タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際にはご注意ください。

タイトル 1　　タイトル 2

チャプター 1　チャプター 2　チャプター 1　チャプター 2

DVD

■ディスクの操作について

DVD ディスクでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作が出来ないことがあります。パイオニアの DVD プレーヤではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に禁止マークを表示します。また、メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、ディスク全体が連続的でなく枝別れがあるため、リピートやプログラムなどの一部の操作が出来ないことがあります。このような場合もパイオニアの DVD プレーヤでは画面に禁止マークを表示します。

ディスク禁止マーク
プレーヤーによる禁止マーク

こんなことができます

パイオニアのDVDプレーヤーはDVD、ビデオCD（PBC対応）さらにCDも再生できます。

多彩なDVDの音声出力に対応しています

DVDは、下記の4つのデジタル音声方式（1998年8月現在）のうち、いずれかで収録しています。
本機のデジタル出力端子からは、下記のいずれかのデジタル音声を出力します。

・ドルビーデジタル*
劇場用のサラウンドシステムです。ドルビーデジタル音声で収録されているDVDでは、ドルビーデジタルデコーダーやドルビーデジタルデコーダー内蔵AVアンプと接続して、ドルビーデジタルサラウンド音声を楽しめます。

・DTS（ディーティーエス）**
ドルビーデジタルとは異なったサラウンドの規格です。すでに多くの劇場で採用しています。この劇場用と同じDTS音声で収録されているDVDでは、DTSデコーダーやDTSデコーダー内蔵AVアンプと接続して、DTS音声を楽しめます。ただし、アナログ音声出力端子からは音声は出力しません。

・MPEG（エムペグ）
MPEG音声を収録しているDVDでは、MPEGデコーダーやMPEGデコーダー内蔵AVアンプと接続してMPEG音声を楽しめます。

・リニアPCM（ピーシーエム）
CDと同じデジタル音声です。D/Aコンバーター内蔵アンプと接続してデジタル音声を楽しめます。
また、音声出力端子からはアナログ2チャンネル音声を出力します。

本機は、ドルビーデジタル、MPEGの音声をリニアPCMに変換する機能を持っています。これにより、特殊なデコーダをお持ちでなくても、今までのCDを再生するシステムで、音声を楽しめます。

前方2本のスピーカーで立体感のある音場効果を楽しめます（36ページ）

「Virtual Dolby Surround***」をオンにすると、サラウンドスピーカーが無くても立体感のある音場効果が楽しめます。

20 kHz以上の周波数をマスターなみの自然な波形音で再現します。（レガート・リンク・コンバージョン）

フォーマットでは記録されない周波数帯（20 kHz以上）の信号を、記録信号を元に1/fの減衰特性により推定し、20 kHz以上の周波数成分を再現します。マスターなみの自然な波形音を創り出し、音声を再生します。

メニュー画面（GUI:グラフィカルユーザーインターフェース）を見ながら操作ができます（28ページ）

DVDでは、ディスク独自のメニューを収録したものがあります。方向ボタンにより操作します。
パイオニアのDVDプレーヤーは、メニューが収録されていないディスクでも本機のメニュー画面で操作することができます。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
未公開著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。

** DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

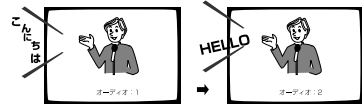
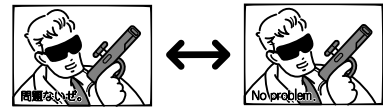
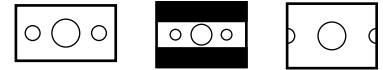
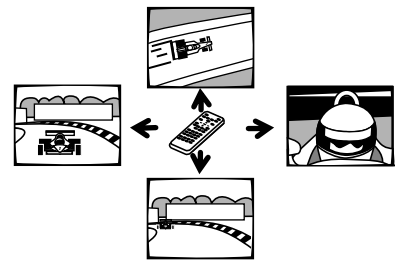
*** 本機はSRS社のTrusurround方式
[TruSurround with SRS]を採用しています。

TruSurroundはSRS Labs, Inc.の商標です。 SRSとSRSのマークは米国およびその他数ヵ国におけるSRS Labs, Inc.の登録商標です。
TruSurroundの技術は、SRS Labs, Inc.によって使用許諾が登録されています。

こんなことができます

☆マークはディスクによってできないものもあります。

DVD 特有の多彩な機能をお楽しみいただけます

・マルチ音声（38 ページ）☆
複数の音声を収録しているディスクでは、その音声を切り換えてお楽しみいただけます。

・マルチ言語字幕（39 ページ）☆
映画などで字幕の言語を切り換えて見ることができます。

・マルチアスペクト（32 ページ）☆
ワイド画面対応のディスクでは、ワイド画面、レターボックス、パンスキャンの中から、お持ちのテレビに合わせて選ぶことができます。

・マルチアングル（39 ページ）☆
見たいアングル（シーン）を選ぶことができます。

・パレンタルレベル（視聴制限）（30 ページ）☆
例えば暴力シーンなどお子様に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。

・画質調整機能（DNR）（34 ページ）☆
再生するソフトに応じた画質調整ができます。

省エネルギー設計製品

・本製品は、電源オフ時（スタンバイ時）の消費電力を抑えた設計となっております。
・スタンバイ時消費電力値は 58 ページの仕様欄を参照ください。

この取扱説明書の読みかた

この取扱説明書は、以下の 5 つに分けて説明しています。

準備 付属品の確認、リモコンに電池を入れる、接続方法を説明しています。

基本操作 再生と終了、および基本機能を説明しています。

お好みに合わせた各種の設定 多彩な機能を説明しています。

応用操作 プログラム設定やリピート再生などの応用機能を説明しています。

その他 これら以外の必要項目を説明しています。

本書では、下記のマークを使用しています。

DVD で楽しめる機能を説明しています。

CD で楽しめる機能を説明しています。

ビデオ CD で楽しめる機能を説明しています。

ポイント　操作上で重要な点を説明しています。

注意！　操作上の注意点を説明しています。

アドバイスなど補助説明をしています。

目　次

対応ディスク

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

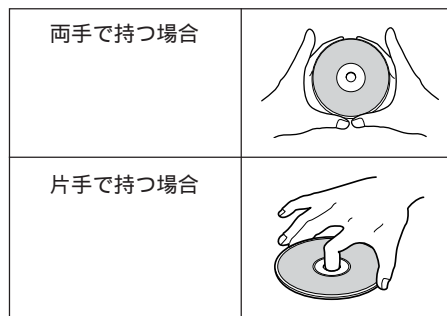
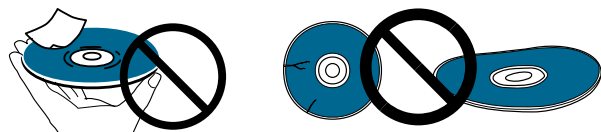
目　次

対応ディスク

使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

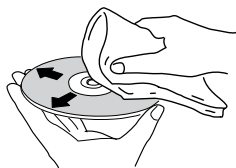
■取り扱いかた

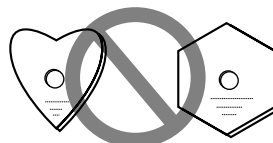
両手で持つ場合	
片手で持つ場合	

● 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
● ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
● ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
● ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**

■保管

● 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

● ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。
● ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

● ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
● 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

特殊な形のディスクについて

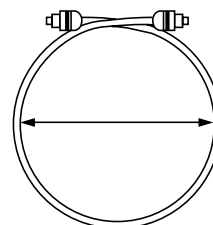
本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項（58ページ）をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損するあるいはディスクが取り出せなくなるおそれがありますのでご注意ください。

結露について

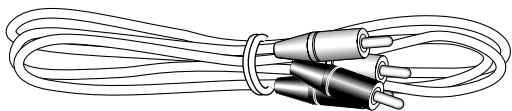
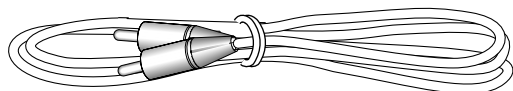
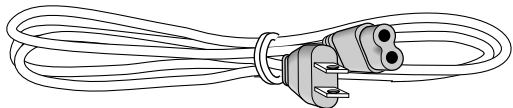
冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

● 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
● 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
● 長さが3m以下のものを使用してください。
● プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

直径15cm以上

ご使用のまえに

付属品を確認しよう

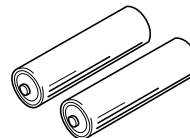
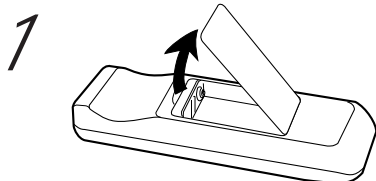
オーディオコード

ビデオコード

電源コード

リモートコントロールユニット
（リモコン）

その他一緒に入っているもの

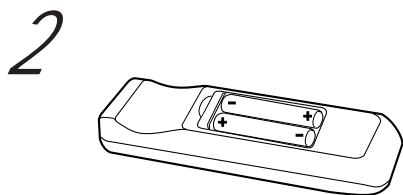
- ●保証書
- ●ご相談窓口・修理窓口のご案内
- ●取扱説明書（本書）
- ●安全上のご注意

単３形（R6P）
乾電池……２個

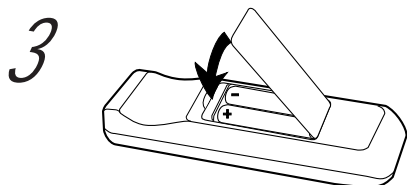
リモコンに電池を入れる

1

裏ブタを押しながら矢印の方向へ引く

● フタが開きます。

2

単３形電池を入れる

● 乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを乾電池の表示通りに入れてください。

3

フタを閉める

注 意 ！

◆新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆長い間（１ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

準備

接続のしかた

各部の名称

本機の接続に関する注意

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。
そのため、本機を VTR を通してテレビに接続したり VTR で録画して再生をすると、
正常な再生画像が得られない場合があります。

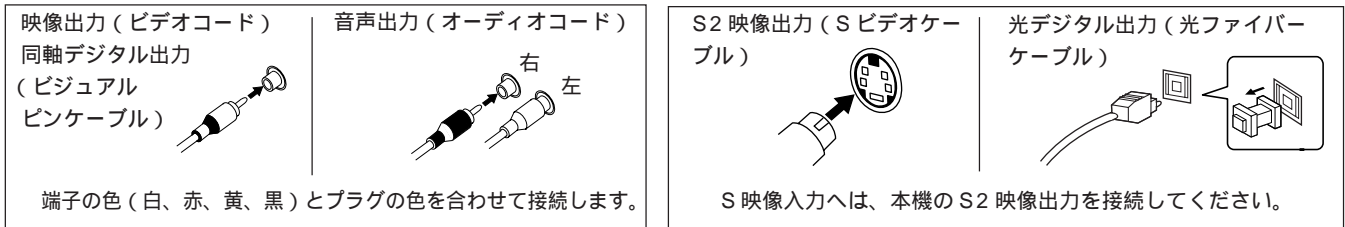
本機には大きく分けて２種類の映像出力方法があります。
1. S2 映像出力、映像出力（接続例 1、2、4）
2. コンポーネント映像出力（接続例 5）

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器（AV アンプ、テレビなど）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

映像出力（ビデオコード）
同軸デジタル出力
（ビジュアル
ピンケーブル）

音声出力（オーディオコード）
右
左

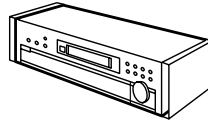
● 端子の色（白、赤、黄、黒）とプラグの色を合わせて接続します。

● 本文中の接続コードの色については、おすすめの接続を濃い色（▬▬）で表示しています。
　おすすめの接続ができない場合は、薄い色（▬▬）のコードを接続してください。
● DVD では、ディスクにより多様な音声方式があり、接続後に本機のメニューで出力設定（33 ページ）を合わせてください。

● お手持ちの機器により、接続方法が異なります。
　以下の表から接続する機器を選んでください。

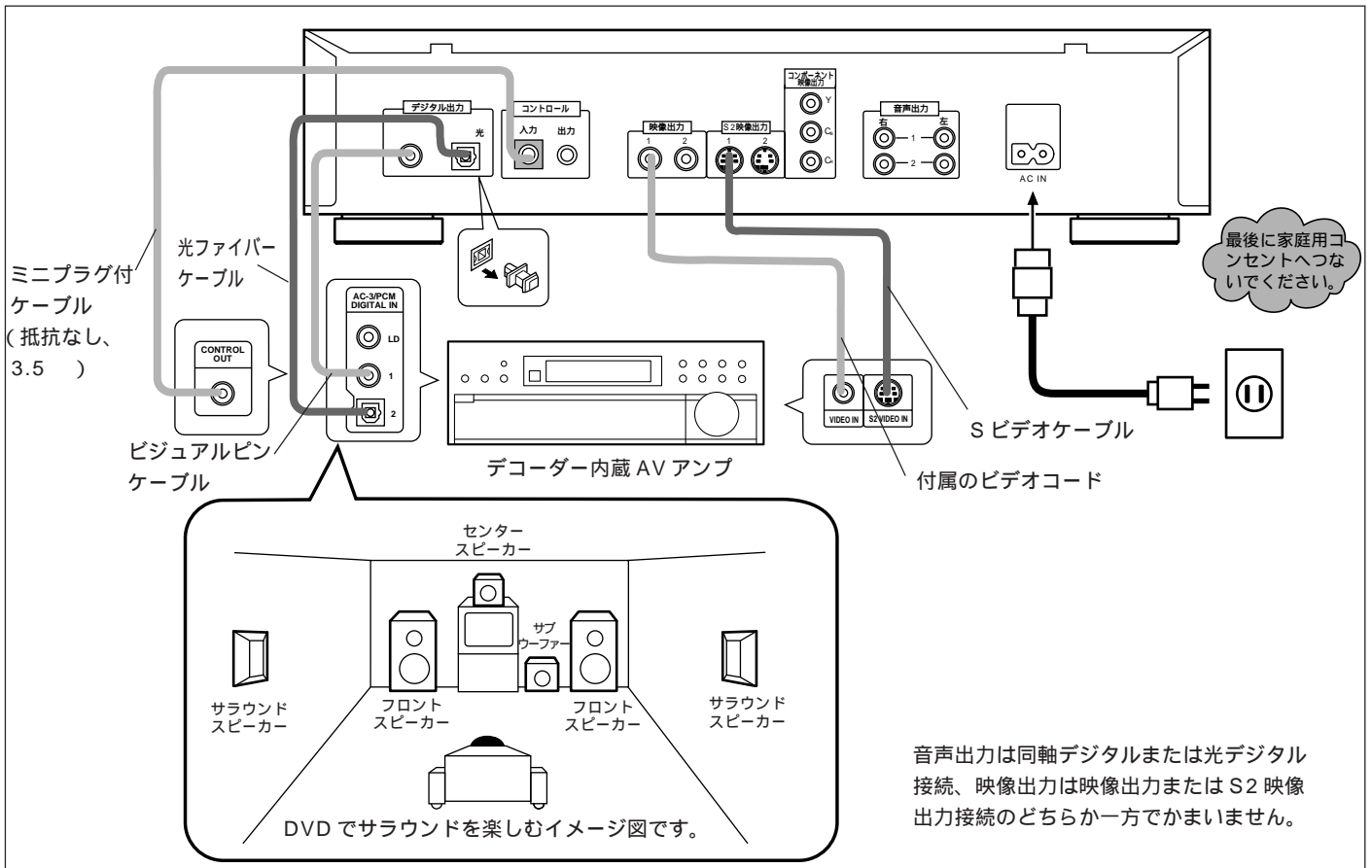
本機と接続する機器	参照する接続例	本機の出力設定 （初期設定内容から変更する項目です。詳しくは 33 ページをご覧ください。）
ドルビーデジタルデコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**初期設定のまま**
DTS デコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**DTS をオン**
MPEG デコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**MPEG**
D/A コンバーター内蔵 AV アンプ	**接続例 2**（14 ページ）	**DOLBY DIGITAL → PCM**
上記以外の AV アンプまたはステレオアンプ	**接続例 2**（14 ページ）	**初期設定のまま**
MD や CD-R などのデジタル録音機器	**接続例 3**（15 ページ）	**DOLBY DIGITAL → PCM、MPEG → PCM**
映像入力のあるテレビ	**接続例 4**（16 ページ）	**初期設定のまま**
コンポーネント入力のあるテレビ	**接続例 5**（16 ページ）	**初期設定のまま**

接続例 1

デコーダー内蔵 AV アンプ
- **ドルビーデジタル（AC-3）内蔵 AV アンプ**
- **DTS 内蔵 AV アンプ**
- **MPEG 内蔵 AV アンプ**

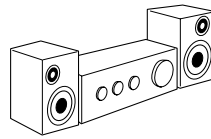
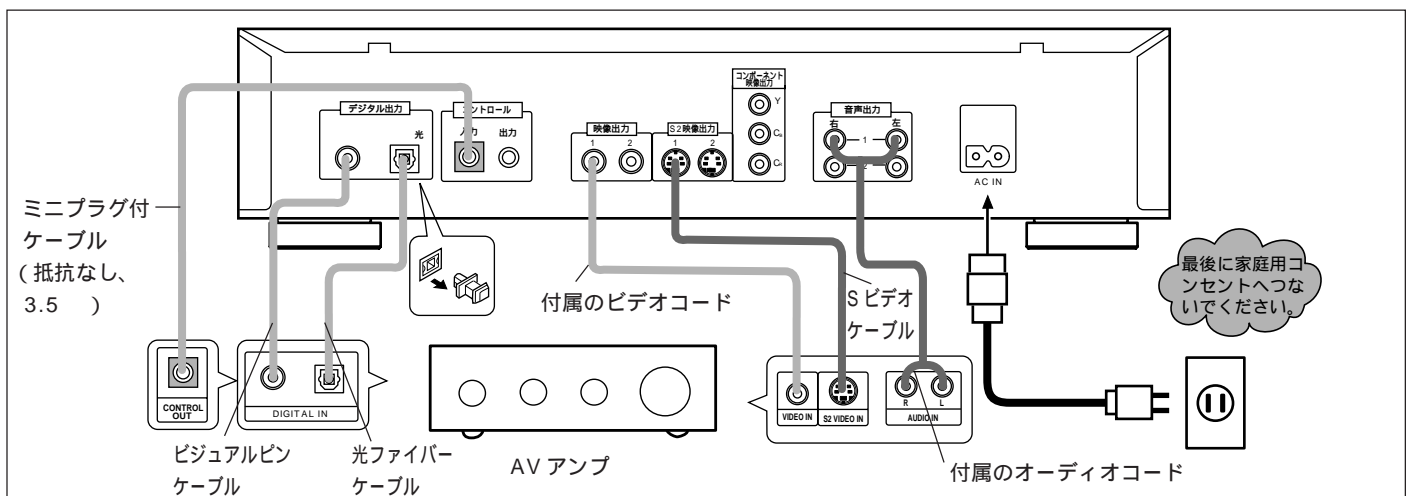
などは、この接続をします。

デコーダーを内蔵した AV アンプのデジタル入力に接続する場合です。

- 音声出力は本機のデジタル出力端子とデコーダー内蔵アンプのデジタル入力（ドルビーデジタル(AC-3)、DTS、MPEG)端子の接続をします。
- 接続した AV アンプに合わせて、停止中にメニュー画面でデジタル出力の設定をしてください。（33 ページ）

ミニプラグ付ケーブル（抵抗なし、3.5 φ）
光ファイバーケーブル
ビジュアルピンケーブル
デコーダー内蔵 AV アンプ
S ビデオケーブル
付属のビデオコード
最後に家庭用コンセントへつないでください。
DVD でサラウンドを楽しむイメージ図です。

音声出力は同軸デジタルまたは光デジタル接続、映像出力は映像出力または S2 映像出力接続のどちらか一方でかまいません。

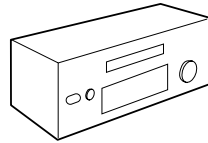
- **パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は**
  市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。
- このシステムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。コントロール出力端子と接続した機器（AV アンプなど）にリモコンを向けて操作してください。
- システムとしてコントロールする場合は、**デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプとオーディオコードまたはビデオコードで接続してください。**
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

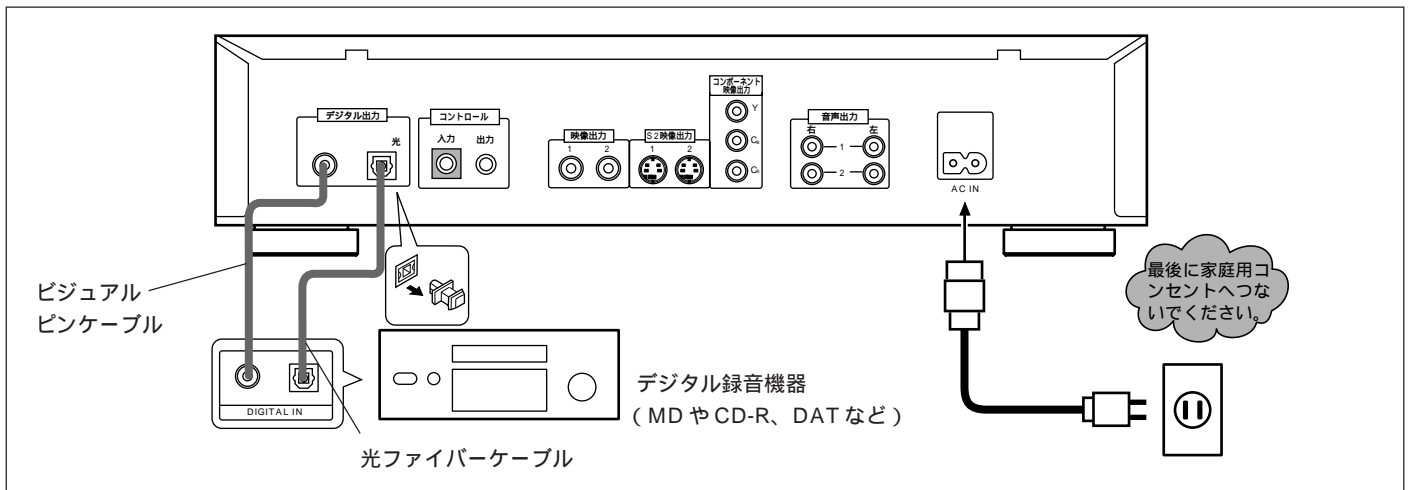
注意！
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。
DTS音声を再生すると、音声出力端子からは音は出ません。

接続例 2 AV アンプ （デコーダーを内蔵しない）		通常のAVアンプやステレオアンプに接続すると、より良い音質で再生することができます。

- 音声出力は本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。（PHONO 端子には接続しないでください）
- 映像出力は本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。映像出力または S2 映像出力、どちらか一方でかまいません。デジタル出力を接続する場合は、同軸デジタルまたは光デジタル出力のどちらか一方でかまいません。
- ドルビープロロジックに対応したアンプでは、サラウンドを楽しむことができます。

- **パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は**
  市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。
- このシステムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。コントロール出力端子と接続した機器（AV アンプなど）にリモコンを向けて操作してください。
- システムとしてコントロールする場合は、**デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプとオーディオコードまたはビデオコードで接続してください。**
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

注意！

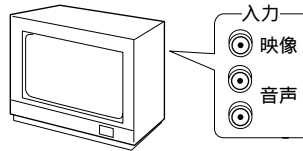
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

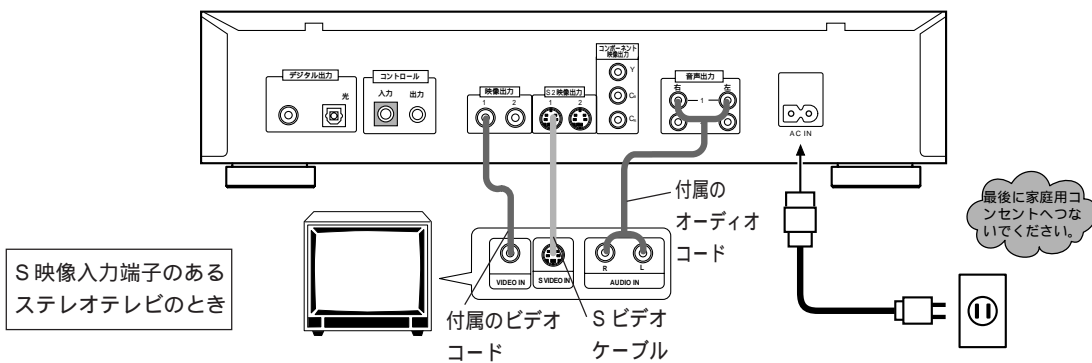
接続例 3
デジタル録音機器

MD や CD-R、DAT などの録音機器を接続することができます。

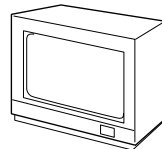
光デジタル出力または同軸デジタル出力のどちらか一方の接続をします。
●光デジタルの場合は、本機の光デジタル出力端子と録音機器の光デジタル入力端子を接続します。
●同軸デジタルの場合は、本機の同軸デジタル出力端子と録音機器の同軸デジタル入力端子を接続します。

注意!

ドルビーデジタル対応のDVDを録音するときは、停止中にメニュー画面で「デジタル出力」の「DOLBY DIGITAL」を「DOLBY DIGITAL → PCM」に設定してください。(33ページ)
また、MPEG対応DVDを録音するときは、停止中にメニュー画面で「デジタル出力」の「MPEG」を「MPEG → PCM」に設定してください。ドルビーデジタル(AC-3)またはMPEG対応のディスクを「DOLBY DIGITAL」または「MPEG」設定のままで録音すると、ノイズを録音してしまいます。また、コピーを禁止しているディスクもあります。
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

接続のしかた

お手持ちのテレビに合わせて下記より選んでください。

接続例 4 **映像入力のあるテレビ**		テレビに映像入力があり、この端子が空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。

- 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
- **テレビの S 映像入力端子と本機の S2 映像出力端子を接続することにより、さらに鮮明な映像を楽しむことができます。**

●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続例 5 **コンポーネント入力端子を持ったテレビ**		コンポーネント入力を持ったテレビを使うとより良い映像でお楽しみいただけます。 ハイビジョンテレビの色差入力（Y、Pb、Pr）とは接続できません。

- 映像入力として、コンポーネント入力端子を持っているテレビと組合せて使用できます。より高画質な再生が楽しめます。
- コンポーネント入力端子の名称はテレビによって異なります。
- 画像の色が薄くなったり、色相がかわったりしたときはテレビ側で調整してください。

注意！

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

各部の名称

■リモコン

サブタイトルボタン（SUBTITLE） P.39
電源ボタン（⏻） P.22 P.24
音声切換ボタン（AUDIO） P.38
モードボタン（MODE） P.34
☆ タイトルボタン（TITLE） P.23 P.43
☆ 前ボタン（PREV⏮） P.23 P.27 P.50
再生ボタン（PLAY▶） P.22
早戻しボタン（REV◀◀） P.23
停止ボタン（STOP■） P.24
一時停止ボタン（PAUSE⏸） P.47 P.49
プログラムボタン（PROGRAM） P.46
チャプター／タイムボタン（CHP／TIME） P.44
繰り返しボタン（REPEAT） P.48
２点間繰り返しボタン（REPEAT A-B） P.48
ジョグモードボタン JOG MODE） P.49
ジョグモードインジケーター P.49

開 / 閉ボタン（OPEN/CLOSE ⏏） P.22 P.24
アングルボタン（ANGLE） P.39
☆ メニューボタン（MENU） P.23 P.26 P.27
画面表示ボタン（DISPLAY） P.40
☆ リターンボタン（RETURN↺） P.23 P.27 P.35
☆ 方向ボタン(◀・▶・▲・▼) P.23 P.34
☆ 実行ボタン（ENTER） P.23 P.27 P.34
☆ 次ボタン（NEXT ⏭） P.23 P.27 P.50
表示窓消灯ボタン（FL DIMMER） P.19
早送りボタン（FWD▶▶） P.23
デジタルノイズリダクションボタン（DNR） P.34
ステップボタン（STEP◀II・II▶） P.49
クリアーボタン（CLEAR） P.37 P.44 P.47 P.50
数字ボタン（1～9，0，+10）
コンディションボタン（CONDITION） P.37
ラストメモリーボタン（LAST MEMO） P.42
ランダムボタン（RANDOM） P.50
シャトルリング P.23
ジョグダイヤル P.49

OPEN/CLOSE　AUDIO　SUBTITLE　ANGLE　MODE　MENU　DISPLAY　TITLE　RETURN　ENTER　PREV　NEXT　REV　PLAY　FWD　DIMMER　FL　PAUSE　STOP　STEP　DNR　1　2　3　4　5　6　7　8　9　0　PROGRAM　CHP/TIME　REPEAT　REPEAT A-B　+10　JOG MODE　RANDOM　LAST MEMO　CONDITION　CLEAR　JOG & SHUTTLE　REV　FWD

☆ 表示のボタンは、メニュー操作を行うためのボタンです。

リモコンの操作

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7m以内、またリモコン受光部を基準にして上下左右30° までの範囲で操作できます。

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合（13、14ページ参照）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

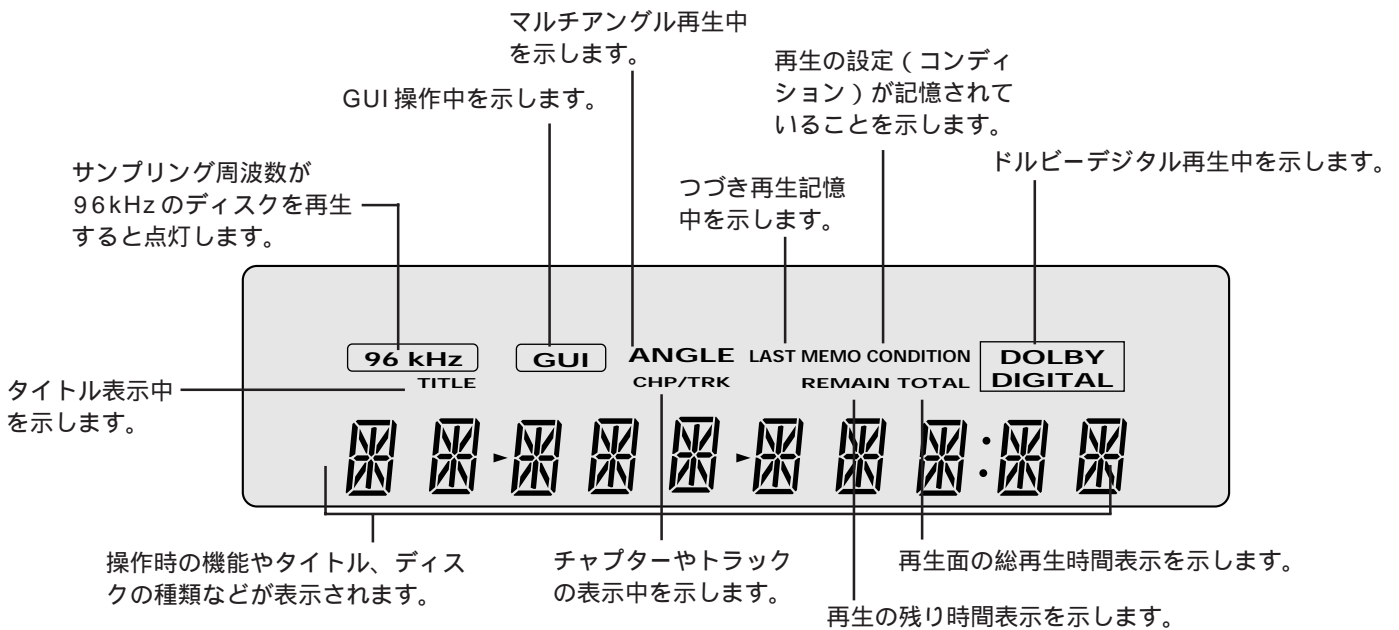
各部の名称

■前面部

■後面部

*1 と 2 があり、2 系統同時接続できます。たとえば、1 をテレビに接続し、2 を AV アンプに接続することができます。

■表示窓

リモコンの表示窓消灯（FL DIMMER）ボタンを押すと、次のように表示窓の明るさが変わります。
明るい → 少し暗い → 暗い → 消灯（FL OFF）

基本操作

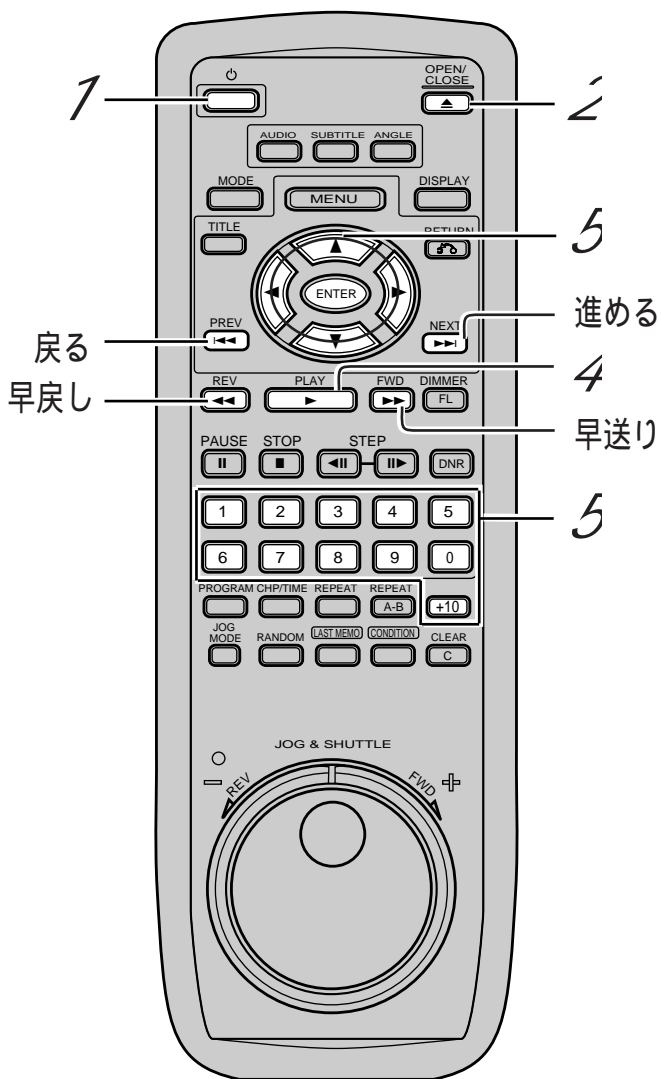
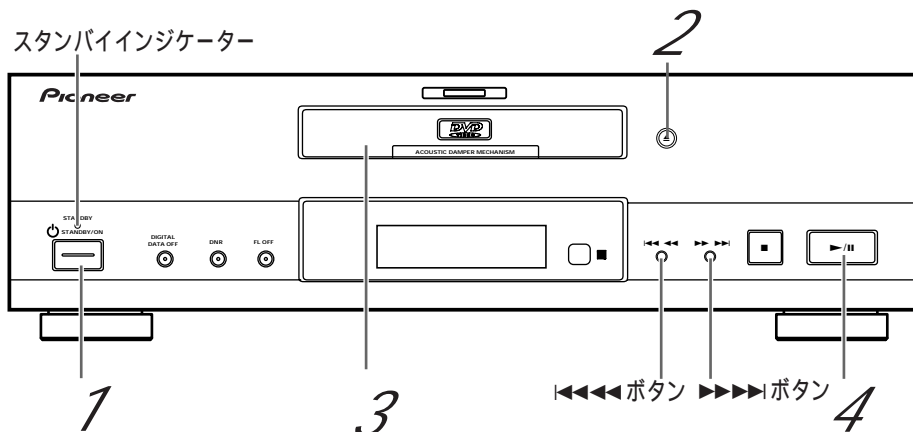
DVD/CD/ビデオ CD を再生する

● テレビの電源を入れ、テレビの入力を DVD が映るポジション（VIDEO など）にします。
● ステレオ機器と接続しているときは、それらの電源を入れます。

スタンバイインジケーター

1　3　2

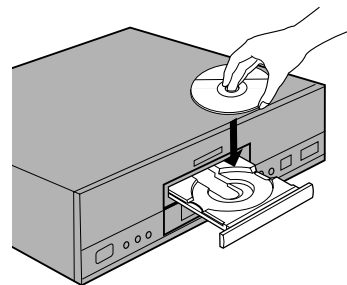
⏮◀◀ボタン　▶▶⏭ボタン　4

戻る　早戻し　進める　早送り

1 ⏻（電源）ボタンを押す

● 電源が入り、スタンバイインジケーターが消えます。

2 ▲（開／閉）ボタンを押す

● ディスクテーブルが出ます。

3 レーベル面を上にして、ガイドに合わせてディスクを置く

4 ►／II（再生／一時停止）ボタンを押す

● ディスクテーブルが閉まり、再生が始まります。
● ディスクによっては、メニュー（選択画面）が表示されます。メニューが表示された場合は手順5を操作してください。

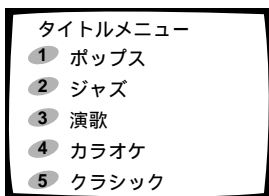
早送り、早戻しのしかた

メニュー画面が表示されたとき

●リモコンで操作します。

メニュー画面付きDVDやプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

例 メニュー画面付きDVDのとき

タイトルメニュー
1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

例 プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

メニュー画面形式、操作方法はディスクによって異なるのでご注意ください。

5 見たい項目を選ぶ

● DVDの場合

△ ▽ ◁ ▷ で選び、ENTER で決定します。

● ビデオCDの場合
数字ボタンで決定します。

ポイント

ビデオCDをメニューを出さずに再生するには

● ビデオCDではメニュー画面を出さずに再生することもできます。例えば、トラック1から再生するには、停止中に数字ボタンの1を押します。

● **メニュー画面に戻すには**
ディスクによって異なりますが、TITLE、MENU、RETURN を、ビデオCD再生中はリターンボタン押すと、メニュー画面に戻すことができます。

● ビデオCDで複数のメニューがある場合、PREV NEXT ボタンでページの送り、戻しができます。

次のチャプター（トラック）へ進む

NEXT（本体は ▶▶ ▶▶| ボタン）を押す

● 次のチャプター（トラック）に進みます。

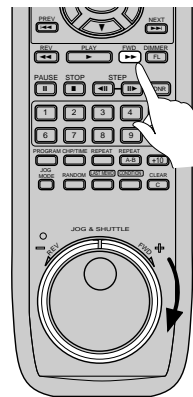
前のチャプター（トラック）へ戻る

PREV（本体では |◀◀ ◀◀ ボタン）を押す

● 一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
● さらに押すと、ひとつ前のチャプター（トラック）に戻ります。

早送りのしかた

2つの方法があります。

FWD を押しつづける

● 画面の「スキャン」表示が点滅中は、押すのをやめると再生に戻ります。
●「スキャン」表示が点灯に変わると、押すのをやめても早送りしつづけます。目的のところまできたら PLAY を押して再生にしてください。
● 本体では送り ▶▶ ▶▶| ボタンが同じ働きです。

シャトルリングを右に回す

● 回す量により、ふつうの速度から約30倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。

早戻しのしかた

2つの方法があります。

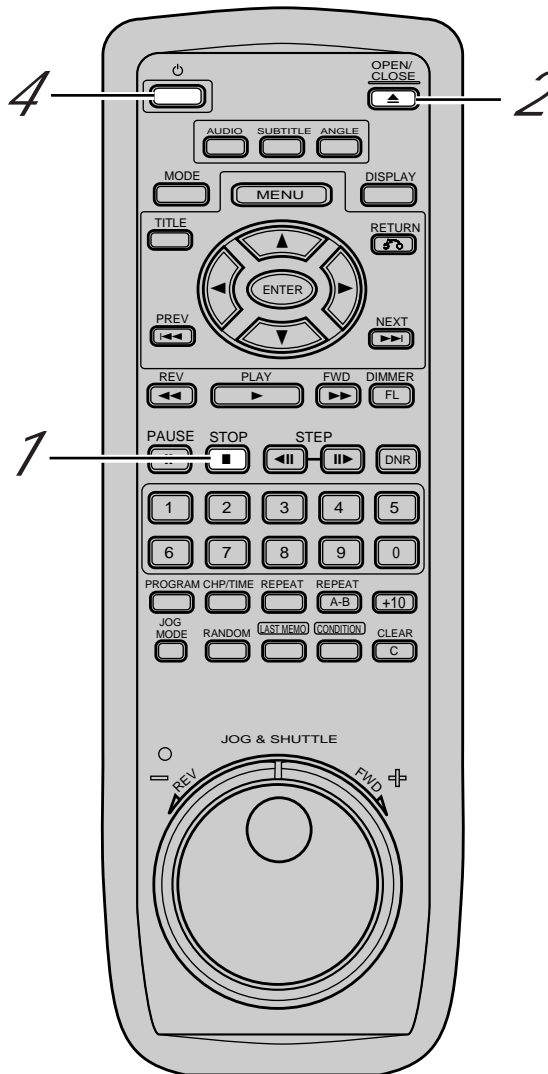
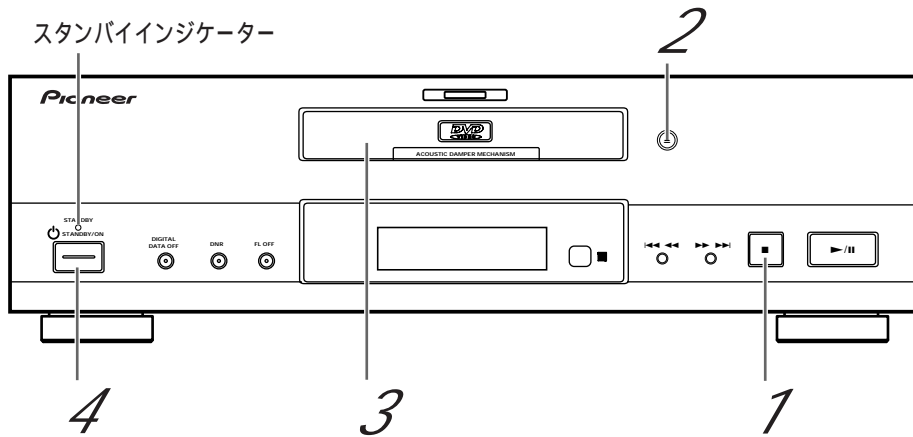
REV を押しつづける

● 画面の「スキャン」表示が点滅中は、押すのをやめると再生に戻ります。
●「スキャン」表示が点灯に変わると、押すのをやめても早戻ししつづけます。目的のところまできたら PLAY を押して再生にしてください。
● 本体では戻し |◀◀ ◀◀ ボタンが同じ働きです。

シャトルリングを左に回す

● 回す量により、ふつうの速度から約30倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。

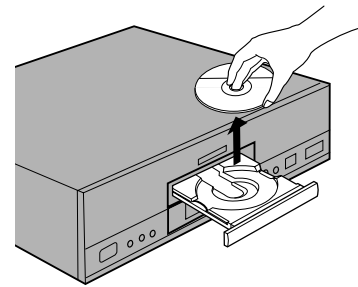
準備 基本操作 お好みに合わせた各種の設定 応用操作 その他

終了する

1 ■ ボタンを押す

● 再生が終わります。

2 ▲（開／閉）ボタンを押す

● ディスクテーブルが出てきます。

3 ディスクを取り出す

4 ⏻（電源）ボタンを押す

● ディスクテーブルが閉まり、電源が切れてスタンバイインジケーターが点灯します。

お好みに合わせた各種の設定

メインメニューについて

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。
ディスクをディスクトレイにセットし、停止中に MENU を押します。（自動的に再生する DVD では STOP ■ を押し、 MENU を押します。）

DVD

CD
または
ビデオ
CD

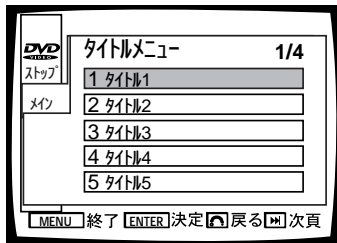
タイトルメニュー画面では：*
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

メニュー画面では：*
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

初期設定画面では：
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。

出力設定画面では：
本機のデジタル出力端子から出力する音声を選ぶことができます。

* メニューを収録しているディスクでは、ディスクによりメニュー操作が異なります。

タイトルメニュー画面について

タイトルを選んで再生できます。
43 ページの「見たい場面を探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容

上記内容の変更を決定して終了します。

チャプター画面では：
1 つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

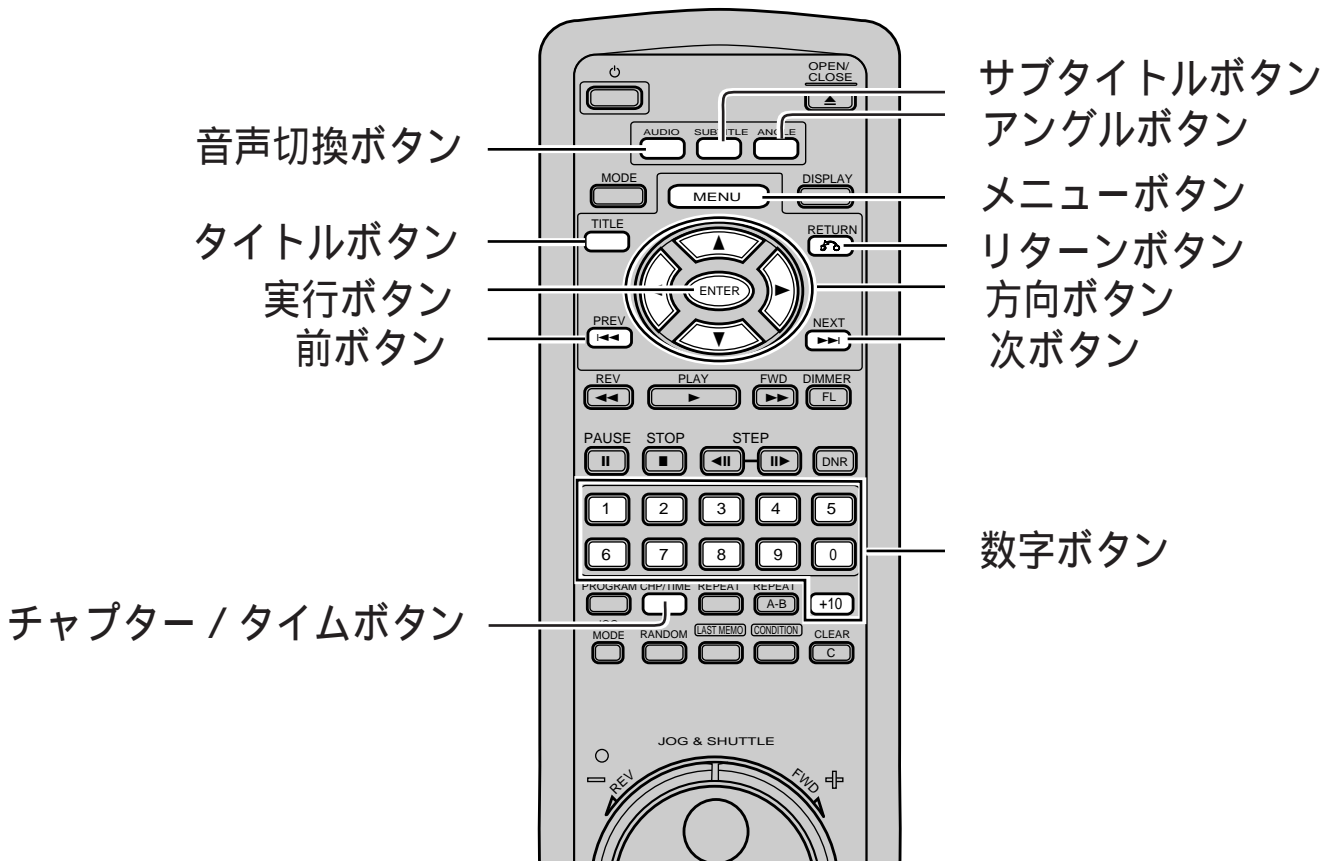
音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

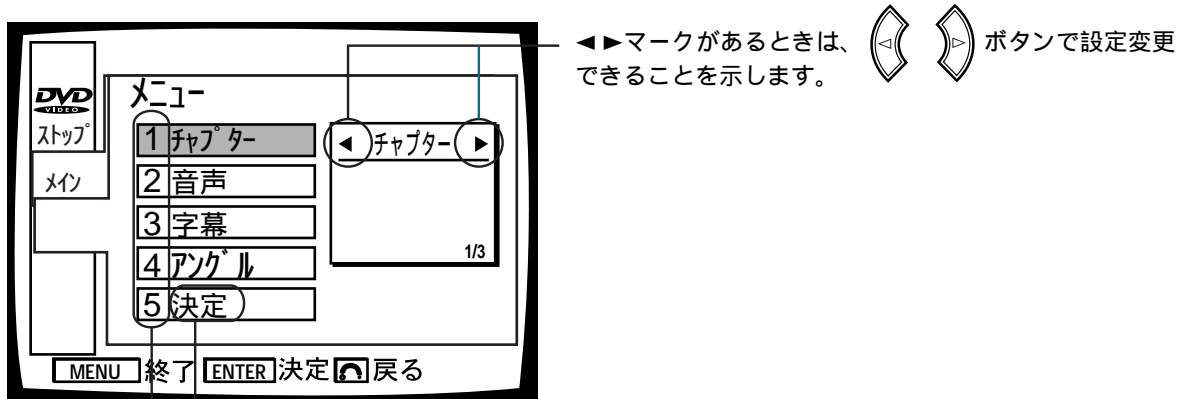
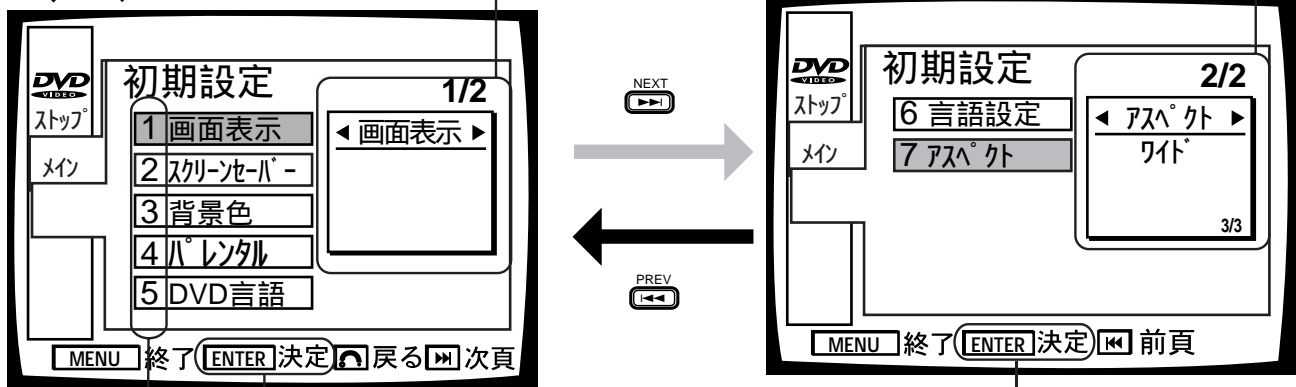
アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中からお好みのものを選ぶことができます。

メニュー操作のしかた

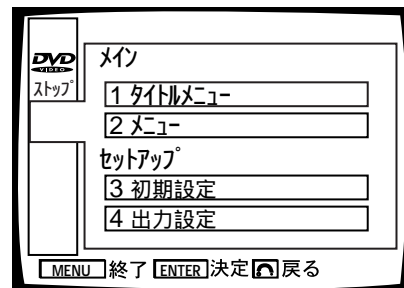
ボタンの名称	ボタンのかたち	働き
メニューボタン	MENU	メニュー画面に入る、または終了する（設定した内容は無効になります）
リターンボタン	RETURN	1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は決定になります）ただし、タイトル画面、メニュー画面でのサーチは無効です。
数字ボタン	1 ～ 0 ・ +10	選択し決定する（セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります）
方向ボタン	▲ ▼ ◀ ▶	選択
実行ボタン	ENTER	決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
前ボタン	PREV	前のページへ
次ボタン	NEXT	次のページへ
直接メニューを出すボタン	TITLE CHP/TIME SUBTITLE ANGLE AUDIO	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）

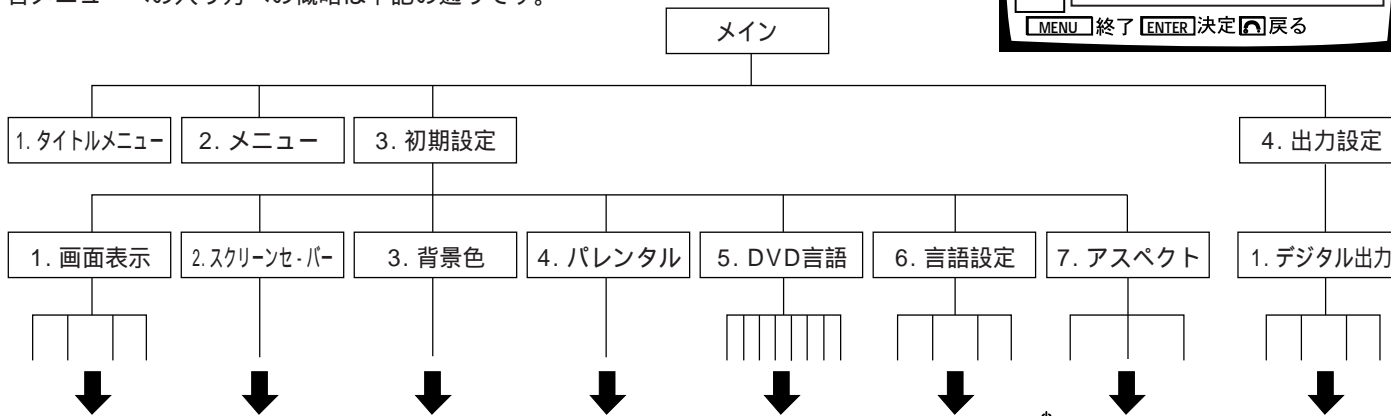
音声切換ボタン
タイトルボタン
実行ボタン
前ボタン
チャプター／タイムボタン
サブタイトルボタン
アングルボタン
メニューボタン
リターンボタン
方向ボタン
次ボタン
数字ボタン

画面表示と操作の例

GUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）

例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD時）

例2：セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD時）

さまざまな設定を変更する

ディスクをディスクトレイにセットし、停止状態で MENU を押す。

- メインメニュー画面になります。
- CD、ビデオ CD の場合、右図のメインメニュー画面とは異なります。

メインメニュー画面のセットアップ（3.初期設定、4.出力設定）で設定します。

各メニューへの入り方への概略は下記の通りです。

- **設定を変更した後に全ての内容を初期設定に戻すには、電源を切り本体の ▪ を押しながら STANDBY/ON を押してください。この場合、「画質・音質の設定」や「コンディションメモリー」、「ラストメモリー」、「パレンタルレベルの暗証番号」も消去します。**

初期設定

画面表示、スクリーンセーバー、背景色、パレンタル、DVD 言語、言語設定、アスペクトの設定ができます。

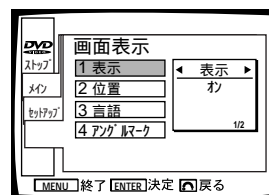
- 設定の項目で、最初に説明している設定状態が初期設定（工場出荷時の設定）です。* 印を付けてあります。

1. 画面表示

1. 表示：動作表示（プレイ、ストップなど）をする（オン）しない（オフ）を切り換えます。
   設定　：オン *（動作表示する）
   　　　：オフ（動作表示しない）

2. 位置：ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の 外にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示を見ることができるようになります。
   設定　：ノーマル *（通常のテレビ（4：3）を使用するとき）
   　　　：ワイド（ワイドテレビを使用する場合（メニュー画面は対応していません。））

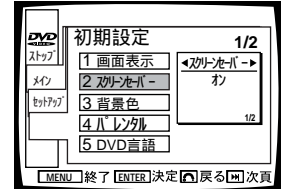
3. 言語：動作表示と各メニュー画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。
   設定　：日本語 *（例）プレイ
   　　　：英語（例）PLAY

4. アングルマーク：アングルが記録された画面を再生するとを表示します。
   アングルの画面を再生しているかどうかがはっきりします。
   設定　：オン *（表示）
   　　　：オフ（表示しない）

準備　基本操作　お好みに合わせた各種の設定　応用操作　その他

さまざまな設定を変更する

2. スクリーンセーバー

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。

設定　：オン*（スクリーンセーバーが機能する）
　　　：オフ（スクリーンセーバーが機能しない）

3. 背景色

メニュー画面や停止状態の画面の色を、お好みの色に設定できます。R（赤）、G（緑）、B（青）を個別に設定できます。それぞれ21段階の設定ができます。

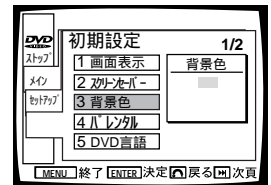
設定　：青*
　　　：可変

4. パレンタルレベル

1

2

3～4

5

視聴制限のことをいいます。映像内容によって視聴制限をかける機能です。

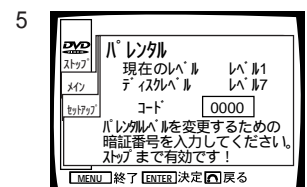
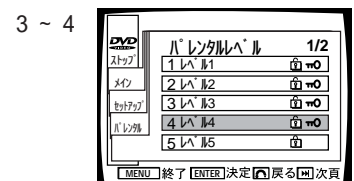
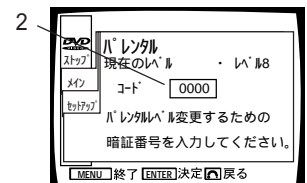
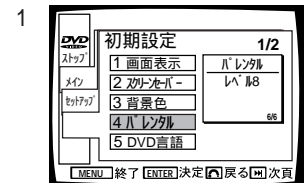
本機はディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーンなどで子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。

一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。

暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態に戻して再び設定できます。（29ページ）

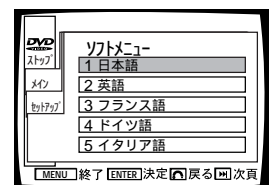
設定のしかた

1. ENTER を押す。
   - 暗証番号入力画面になります。
2. 数字ボタンで暗証番号を押す。
3. 方向ボタンで1～8のレベルを選ぶ。
4. ENTER を押す。
   - ディスクに視聴制限が設定されます。

5. 視聴制限が設定されたディスクでは
   - PLAY を押して、再生を始めると、暗証番号入力画面が表示されます。
   - この画面で暗証番号を数字ボタンで押し、ENTER を押すと、再生が始まります。

5.DVD 言語

DVDによっては、同じ内容で言語のみ異なるディスクメニューを複数収録しているディスクがあります。

このようなディスクの場合、**DVD言語**のメニューで、どの言語のメニューを表示するか選ぶことができます。

設定　：日本語*
　　　：各言語の中から方向ボタンで選び ENTER を押す。

6. 言語設定

基本音声

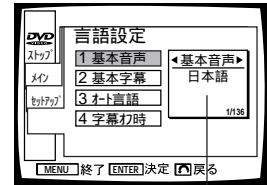
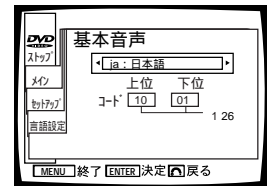
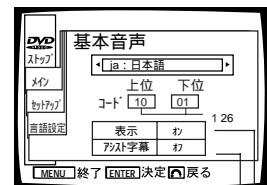
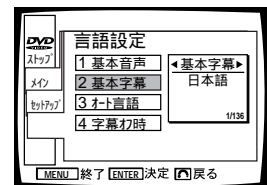
コード入力画面

1. 基本音声：ディスクに入っている多くの言語の音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。

設定　：日本語 *

：136 種類の言語の中から選べます。

● リモコンの ◁ ▷ を押して基本音声を選べます。

● ENTER を押し、コード入力画面にします。
言語コード表（56 ページ）の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定 する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタン（10 以上は、+10 ボタンを使用）で設定します。

アシスト字幕

表示

2. 基本字幕：ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。

設定　：日本語 *

：136 種類の言語の中から選べます。

● リモコンの ◁ ▷ を押して基本字幕を選べます。

● ENTER を押し、コード入力画面にします。
言語コード表（56 ページ）の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定 する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタン（10 以上は、+10 ボタンを使用）で設定します。

● リモコンの ▽ または △ で表示を選び、◁ または ▷ で表示（オン）、表示しない（オフ）を選ぶことができます。

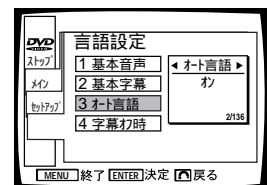
設定　：オン *
　　　　オフ

● ディスクによっては、耳の不自由な方などのために場面の状況を解説した字幕が記録されているものがあります。「アシスト字幕」をオンにすると、この字幕を優先して表示します。

設定　：オフ *
　　　　オン

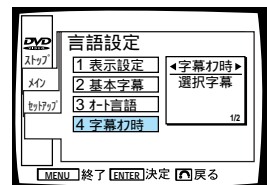
3. オート言語

設定　：オン *（一般的な洋画では、オリジナル音声、日本語字幕が選択され、邦画では、オリジナル音声（日本語）が選択され、字幕は出ません。）

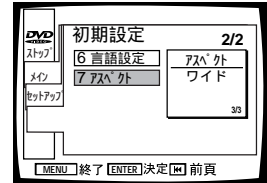
：オフ（基本音声、基本字幕の設定になります。）
基本音声と基本字幕が同じ言語でない場合や基本字幕の表示オフが選択されている場合、またはアシスト字幕のオフが選択されている場合は、オート言語機能は働きません。

4. 字幕オフ時：字幕を非表示（オフ）にした時のディスクが強制的に表示する字幕を設定できます。

設定　：選択字幕 *（選んだ字幕の言語になります。）

：音声連動（選んだ音声の言語になります。）

準備　基本操作　お好みに合わせた各種の設定　応用操作　その他

7. アスペクト

ワイド画面対応で記録されたソフトを見るときに、お使いのテレビに合わせて映像の縦横比を切り換えられます。

設定　：ワイド *
　　　：パンスキャン
　　　：レターボックス

アスペクト切換のできる DVD の場合にはテレビに合わせて切り換えてください。

ディスク	アスペクト切換	ワイドテレビ（16:9）	通常のテレビ（4:3）
ワイド画面ディスク	ワイド		
	パンスキャン		
	レターボックス		
通常画面ディスク			

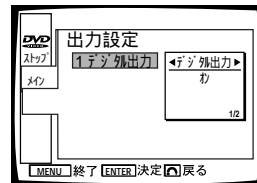
- ワイドテレビは通常はワイドを選びます。
- 通常のテレビは、普通はパンスキャンまたはレターボックスを選びます。

上の表の ▭ 部分
- アスペクトの切換ができるか、できないかはディスクによります。ディスクのジャケット等で確認してください。
- アスペクトの切換ができないディスクの場合にはテレビ側で画面を調整してください。

ポイント

●通常のテレビは横 4:縦 3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横 16:縦 9 の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。

出力設定

デジタル出力の設定ができます。
本機の光デジタル出力端子と同軸デジタル出力端子から出力する音声を変更できます。
ボタンでオン、オフを切り換えることができます。
　設定　：オン *（デジタル出力をする）
　　　　：オフ（デジタル出力をしない）
初期設定（工場出荷時）はオンに設定されています。
● 設定の項目で、最初に説明している状態が初期設定（工場出荷時の設定）です。* 印を付けてあります。

デジタル出力

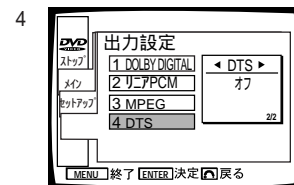
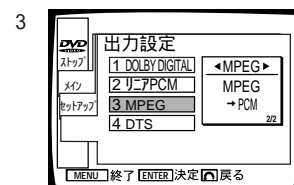
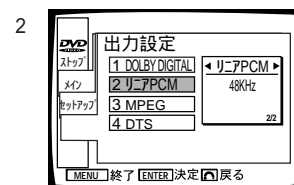
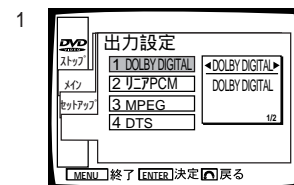
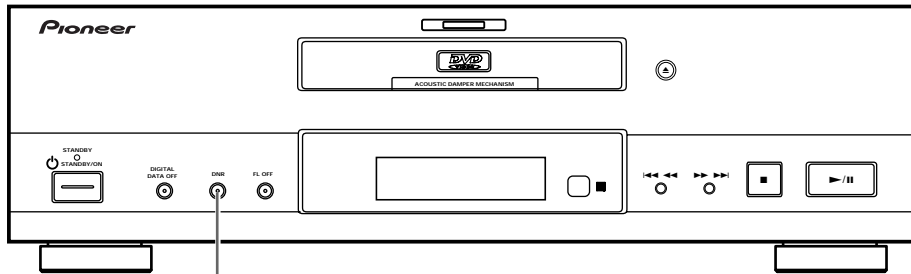
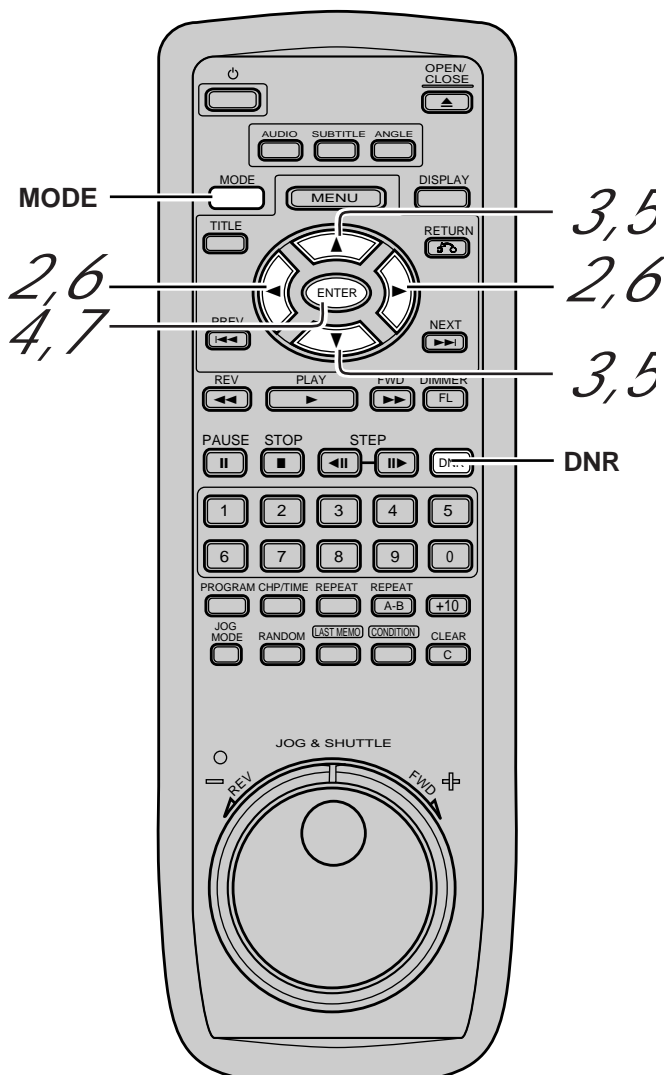
接続する AV 機器に合わせて、出力設定を行います。
● ドルビーデジタルに対応している AV アンプでは、**DOLBY DIGITAL** にします。
● リニア PCM で、96KHz に対応している AV アンプでは、**96KHz** にします。
● MPEG に対応している AV アンプでは、**MPEG** にします。
● DTS に対応している AV アンプでは、DTS を**オン**にします。

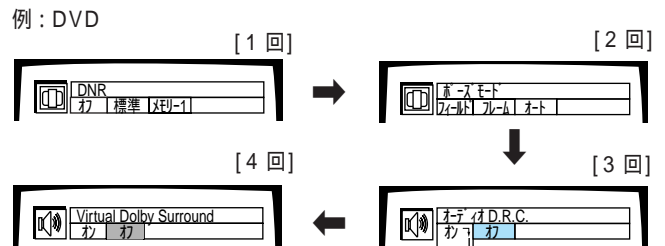
お手持ちの機器がどれに対応しているかわからない場合は、変更しないでください。

1
1. DOLBY DIGITAL：本機のデジタル出力端子から出力する音声を変更できます。DVD のドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニア PCM（CD でおなじみのデジタル音声）を切り換えられます。
　設定　：**DOLBY DIGITAL***（ドルビーデジタル信号をそのまま出力します。（ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを搭載したアンプを使用するとき））
　　　　：**DOLBY DIGITAL → PCM**（ドルビーデジタルでもリニア PCM に対してでもリニア PCM 規格で出力します。（通常のアンプやドルビープロロジックアンプを使用するとき））

2
2. リニア PCM： **96KHz**（オーディオがサンプリング周波数 96KHz の PCM のときに、96KHz の高音質で再生することができます。サンプリング周波数 48KHz のときには、そのまま 48KHz での再生になります。）
48KHz（サンプリング周波数が 96KHz のディスクでも、48KHz に圧縮して再生します。48KHz は、そのまま 48KHz になります。）
● ディスクに記録されているオーディオサンプリング周波数をお好みに合わせて、アナログ出力／デジタル出力とも同時に切り換わります。
● 96KHzDVD のフォーマット上、コピープロテクトされたディスクでは、96KHz を選択すると、デジタル出力端子から信号が出なくなります。
　設定　：**48KHz***
　　　　：**96KHz**

3
3. MPEG：MPEG 入力端子のあるアンプやデコーダーを使用するとき、本機のデジタル出力端子から出力する音声を変更できます。
DVD の MPEG とリニア PCM を切り換えられます。
　設定　：**MPEG → PCM***（MPEG でもリニア PCM に対してでもリニア PCM 規格で出力します。）
　　　　MPEG（MPEG 信号をそのまま出力します。（MPEG デコーダーを搭載したアンプを使用するとき））

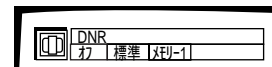
4
4. DTS：DTS 入力端子のあるアンプを使用するとき、DTS 信号が記録された DVD で、DTS 信号を出力する（オン）、出力しない（オフ）を切り換えられます。
　設定　：**オフ ***（DTS 信号を出力しない）
　　　　：**オン**（DTS 信号を出力する）

画質・音質を切り換える

MODE を押す回数により、次のように切り換わります。

例：DVD

使用するディスクにより下表のようになります。

回数 / ディスク	1回	2回	3回	4回
DVD	DNR	ポーズモード	オーディオ D.R.C.	Virtual Dolby Surround
ビデオ CD	DNR	Virtual Dolby Surround	———	———
CD	Virtual Dolby Surround	———	———	———

DVD とビデオ CD の画質を切り換える（DNR）

映画、アニメなどの映像をお好みの画質に切り換えられます。

1 再生中に MODE を押し、DNR を選ぶ

2 ◁ ▷ で好みの DNR を選ぶ

オフ
画質：ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合はオフにしてください。

標準
画質、機能ともに通常に戻ります。

メモリー
画質：お好みに応じた画質に調整後、記憶させることができます。

3 △ ▽ で記憶させるメモリーを選ぶ

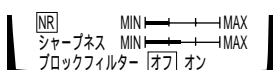
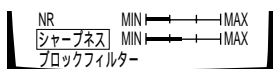
メモリー1
メモリー2
テンポラリー

テンポラリーは一時的に記憶させるとき、メモリー 1 と 2 はお好みの画質を記憶させることができます。

4 ENTER を押す

NR MIN MAX
シャープネス MIN MAX
ブロックフィルター オフ オン

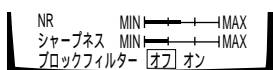
5 △ ▽ で調節する項目を選ぶ

NR MIN MAX
シャープネス MIN MAX
ブロックフィルター

NR
画質：輝度に対して効果があります。

シャープネス
画質：エッジ（輪郭）を強調します。

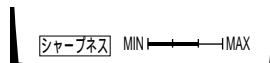
ブロックフィルター
画質：MPEG 特有のブロックノイズに対して効果があります。

6 ◁ ▷ で調整する

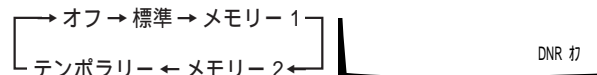
NR MIN MAX
シャープネス MIN MAX
ブロックフィルター オフ オン

7 ENTER を押す

ポイント

5 秒間放置すると調整項目が一行表示になります。

シャープネス MIN MAX

映像を見ながら設定したい場合に便利です。全項目を表示させたいときは、RETURN を押します。

メモ

●画質の切り換えは DNR ボタンでもできます。DNR ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

DVD の静止画を切り換える

効果
フィールド： 静止画にしたとき画面がブレなくなります。
フレーム： 通常は、このモードです。
オート： 自動的にディスクに合わせて、フィールド、フレームを切り換えます。

1 再生中に MODE を押し、ポーズモードを選ぶ

2 ◁ ▷ で好みのポーズモードを選ぶ

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

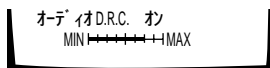
DVDの音質を切り換える（オーディオD.R.C）

ダイナミックレンジコンプレッションのことです。DVDでは、音声のダイナミックレンジが広くなっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会話等の音声が聞きづらい場合に設定します。

1 再生中にMODEを押し、オーディオD.R.Cを選ぶ

2 ◁ ▷ でオンを選ぶ

3 ENTER を押す

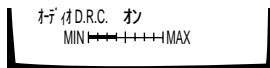
オーディオD.R.C.　オン
MIN ├┼┼┼┼┼┼┼┤ MAX

4 ◁ ▷ で変化量を調整する

- MIN：ダイナミックレンジが狭くなります。
- MAX：ダイナミックレンジが広くなります。

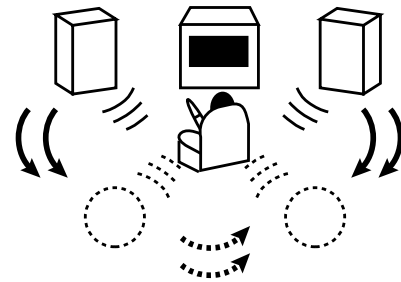
オーディオD.R.C.　オン
MIN ├┼┼┼┼┼┼┼┤ MAX

5 ENTER を押す

- 設定画面が消えます。

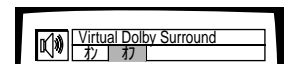
メモ

手順4のときに、▽・△を押すとオン、オフと切り換わります。

立体感のある音場に切り換える（Virtual Dolby Surround）TruSurround with SRS

効果
使用するスピーカーが前方2本のみでも、再生中にバーチャルドルビーサラウンドにすると立体感のある音場になります。

1 再生中にMODEを押し、Virtual Dolby Surroundを選ぶ

2 ◁ ▷ でオンを選ぶ

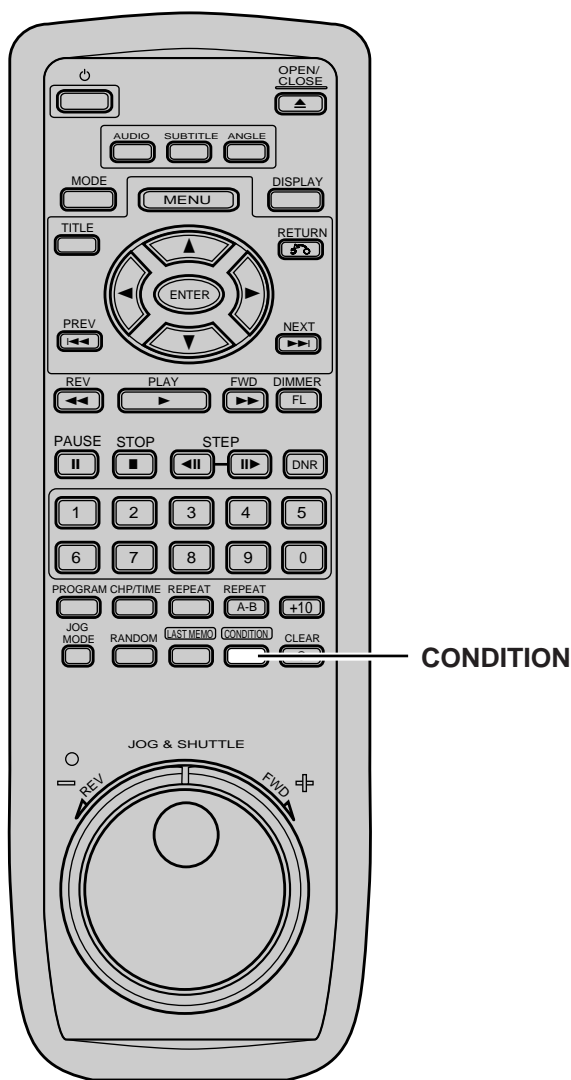
Virtual Dolby Surround
オン　オフ

メモ

- 「音声出力端子」から出力される音声のみ働きます。「デジタル出力端子」では本機能は働きません。
- ディスクによっては、効果が出にくいものがあります。
- ビデオCDのカラオケなどでは、バーチャルドルビーサラウンドをオンにすると、カラオケ音声を選んでもボーカルが小さく聞こえることがあります。このような場合、オフに設定してください。

よく見る DVD の各種設定を記憶させる（コンディションメモリー）

よく見る DVD の設定内容を記憶させることができます。設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容は下記の 7 つです。これらの設定をした後、コンディションメモリーすると、これらの設定内容を記憶しておけます。

- ●表示位置（29 ページ）
- ●パレンタルレベル（30 ページ）
- ●マルチアスペクト（32 ページ）
- ● DNR（34 ページ）
- ●マルチ音声（37 ページ）
- ●マルチ言語字幕（38 ページ）
- ●アングル（39 ページ）

1 再生中に CONDITION を押す

記憶してあるディスクを入れると…

画面に「コンデション」と表示し、前に設定した内容になります。

記憶してある内容を消すには

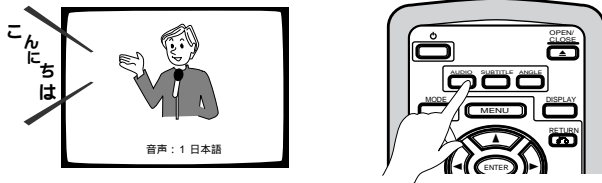
記憶してあるディスクを入れ、画面に「コンディション」の表示中に、 CLEAR C を押します。そのディスクの記憶内容が消されます。

- ●一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
- ●記録できる枚数は最大で 30 枚分です。それを超えると、古い記録から消されて、新しく記録した内容になります。古い記録でも、呼び出されると最新の記録となります。
- ●設定を変更したい場合は、パレンタルレベル、アスペクト、DNR、音声、字幕言語、アングルのいずれかを設定しなおし、再生して CONDITION を押します。
- ●ディスクによっては自動的にマルチ音声等切り換わるものがあります。

音声言語を選ぶ（マルチ音声）

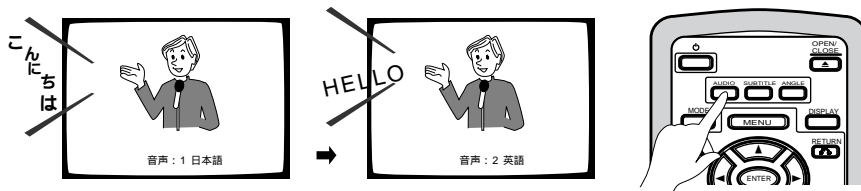
DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。お好みの音声言語を選んでお楽しみください。

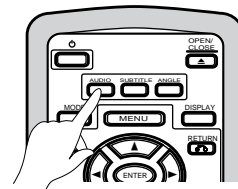
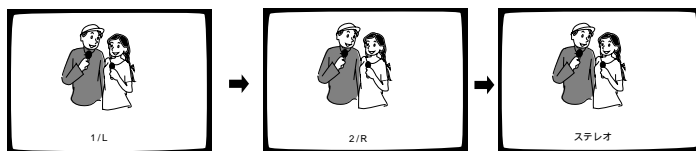
1 再生中に AUDIO を押す

2 AUDIO を押し、お好みの言語にする

ポイント

● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

注意！

◆ 音声言語が１言語しか記録されていないときには音声言語が切り換わりません。
◆ タイトルによっては、音声言語が切り換えできないものがあります。この場合 マークが表示されます。

音声を切り換える

1 再生中に AUDIO を押す

●さらに押すごとに切り換わります。

ポイント

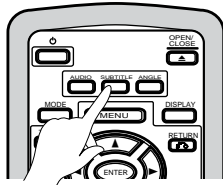
● カラオケソフトなどで、歌と伴奏の音声にするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせてください。

字幕言語を選ぶ（マルチ言語字幕）

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

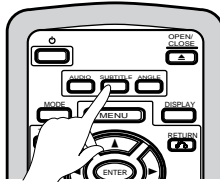
1 再生中に SUBTITLE を押す

●現在再生中の字幕番号が表示されます。

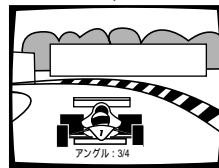
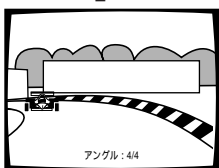
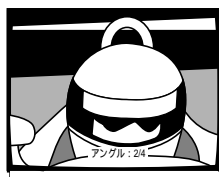
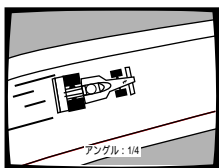
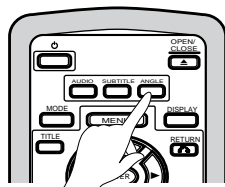
2 SUBTITLE を押し、お好みの言語にする

注意！

◆字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り替わりません。
◆タイトルによっては、字幕言語が切り換えできないものがあります。この場合 マークが表示されます。

ポイント

●再生中に字幕言語を消したい場合には、SUBTITLE を押し表示されている時に CLEAR を押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選択すると消すことができます。
●初期設定メニューから言語設定にし、基本字幕の設定で「オフ」に設定しておくと字幕を消すことができます。（31ページ参照）
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

見たい方向からの映像を選ぶ（マルチアングル）

複数の方向（アングル）から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

1 再生中に ANGLE を押す

●さらに押すごとに切り換わります。

ディスクにアングルが記録されていることを知るには

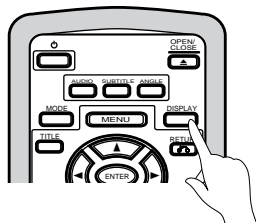
ディスクのジャケットに マークが付いています。また本機では、アングルが記録されいてる箇所を再生すると、 マークを表示することができます。
アングルマーク表示を消したいときは、29ページをご覧ください。

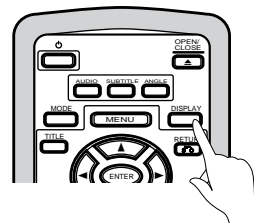
ポイント

●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
●マルチアングル部分を再生中は本体のアングルインジケーターが点灯します。
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

準備　基本操作　お好みに合わせた各種の設定　応用操作　その他

ディスクの情報を見る

再生中に DISPLAY を押す

● 押すごとに下記のように切り換わります。

停止中に DISPLAY を押す

● ディスクのトータル情報が表示されます。

注意！

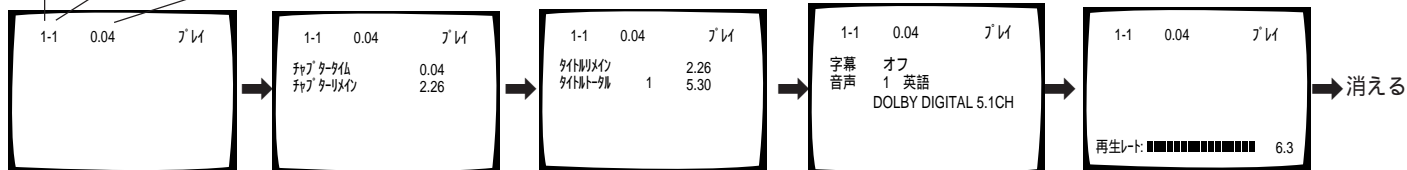
◆ディスクによっては、表示されないものもあります。

DVD

タイトル番号　チャプター番号　タイトル内再生時間

1-1　0.04　ﾌﾟﾚｲ

➡

1-1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
ﾁｬﾌﾟﾀｰﾀｲﾑ　0.04
ﾁｬﾌﾟﾀｰﾘﾒｲﾝ　2.26

チャプタータイム：
　チャプターの再生時間
チャプターリメイン：
　再生中のチャプターの残り時間

➡

1-1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
ﾀｲﾄﾙﾘﾒｲﾝ　2.26
ﾀｲﾄﾙﾄｰﾀﾙ　1　5.30

タイトルリメイン：
　再生中のタイトルの残り時間
タイトルトータル：
　再生中のタイトルの総チャプター数と総再生時間

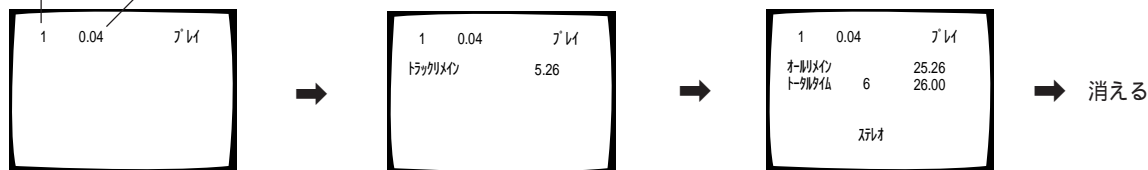
➡

1-1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
字幕　オフ
音声　1　英語
DOLBY DIGITAL 5.1CH

字幕：
　表示する字幕の情報
音声：
　出力する音声の情報

➡

1-1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
再生ﾚｰﾄ: ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮　6.3

再生レート：
　転送レートのレベルメーター

➡消える

CD

トラック　曲の再生時間

1　0.04　ﾌﾟﾚｲ

➡

1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
ﾄﾗｯｸﾘﾒｲﾝ　5.26

トラックリメイン：
　再生中の曲の残り時間

➡

1　0.04　ﾌﾟﾚｲ
ｵｰﾙﾘﾒｲﾝ　25.26
ﾄｰﾀﾙﾀｲﾑ　6　26.00
ｽﾃﾚｵ

オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総トラック数と総再生時間

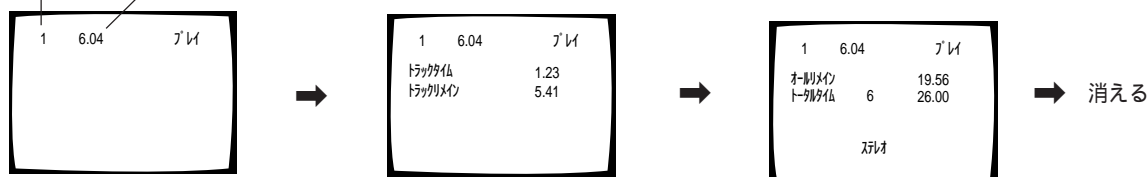
➡ 消える

ビデオCD

トラック　ディスクの始めからの再生時間

1　6.04　ﾌﾟﾚｲ

➡

1　6.04　ﾌﾟﾚｲ
ﾄﾗｯｸﾀｲﾑ　1.23
ﾄﾗｯｸﾘﾒｲﾝ　5.41

トラックタイム：
　再生中の曲再生時間
トラックリメイン：
　再生中の曲の残り時間

➡

1　6.04　ﾌﾟﾚｲ
ｵｰﾙﾘﾒｲﾝ　19.56
ﾄｰﾀﾙﾀｲﾑ　6　26.00
ｽﾃﾚｵ

オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総トラック数と総再生時間

➡ 消える

応用操作

つづきから見る（つづき再生）

ディスクを途中まで見て、あとでそのつづきを見るときに便利な機能です。

つづきから見る場所を記憶する

1 再生中に LAST MEMO を押す

● 表示窓のラストメモリーインジケータが点灯します。

2 ⏻ で電源を切るか、STOP ■ で再生を停止する

一度記憶すると電源を切っても、ディスクを取り出しても忘れません。また、DVDは最大5枚分記憶することができ、次回再生するときに、その場面を呼び出すことができます。

つづきから見るとき

1 つづきから見る場所を記憶しているディスクを入れます

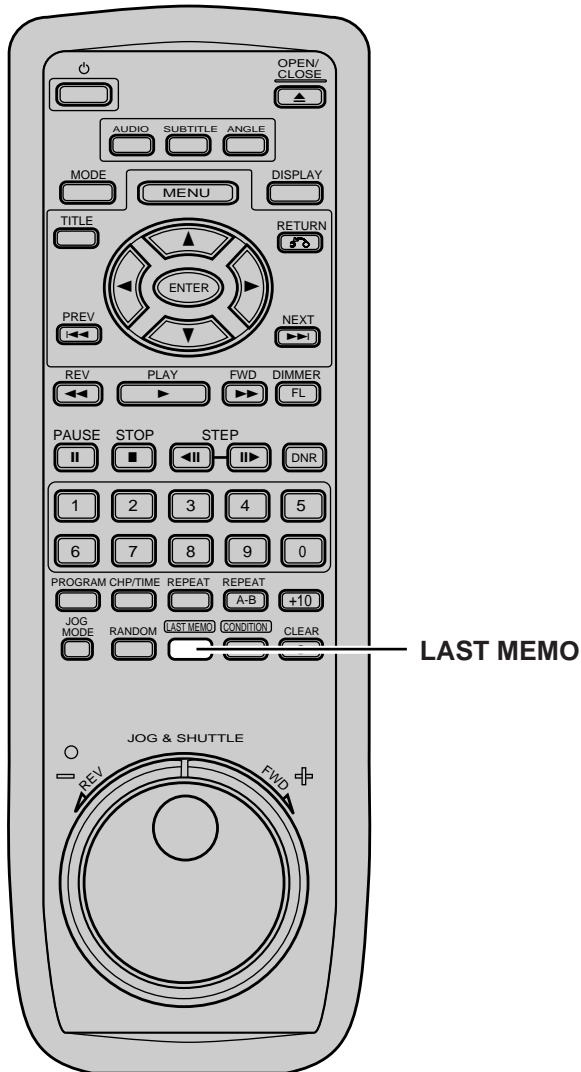
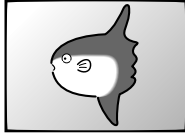
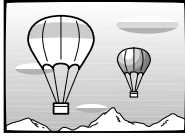
● DVDの中には、ディスクを入れただけで自動的に再生するディスクもあります。
この場合、一度ストップボタンを押して、再生を止めてください。

2 停止中に LAST MEMO を押す

● ディスクを入れたまま電源ボタンで電源を切ったときは電源が入り自動的に再生が始まります。

●DVDの場合は、ディスクによっては機能しないことがあります。
●DVDは、登録ディスクの枚数が5枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●記憶したディスクでも、PLAY ▶ で再生すると、ディスクの始めから再生します。
●つづき再生したディスクは記憶が自動的に消去されます。
●CDでは、つづき再生はできません。
●ビデオCDは、ディスクを取り出すと記憶した内容は消えます。
●ビデオCDは、PBC再生をしたときは、つづき再生ができないものがあります。つづき再生ができないときは、メニューを出さずに再生してください。（23ページ）
●自動的に再生した場合は、一度 STOP ■ を押してから、LAST MEMO を押してください。

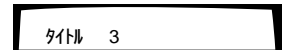
タイトル１　　タイトル２

DVD

見たい場面を探す（タイトルサーチ）

タイトル番号で直接探す

1 TITLE を押す
（停止中は TITLE を押さずに手順２へ進む）

2 数字ボタンを押す

・タイトルの３を選ぶとき

・タイトルの１０を選ぶとき　+10 → 0

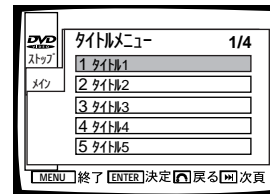
● タイトル番号点滅時に TITLE を押し続けると、タイトル番号が１つずつ進みます。希望の番号を選んで PLAY を押しても選ぶことができます。

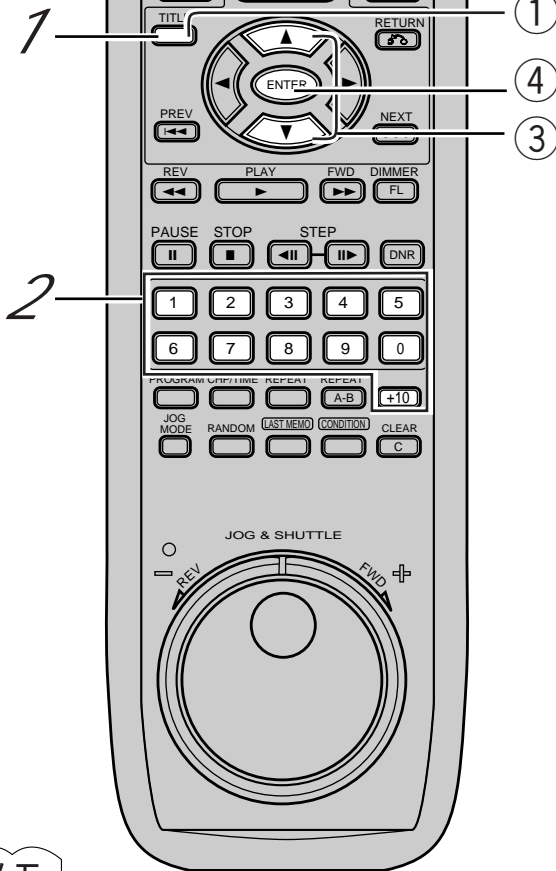
メニューで探す

① TITLE を押す

● 停止中は手順③へ進んでください。

② MENU を押す

③ でタイトル番号を選ぶ

④ ENTER を押す

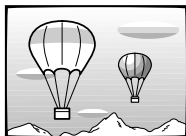
● 選んだタイトルを再生します。

メモ

●直接、数字ボタンでも選べます。選んだタイトルをすぐに再生します。
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

注意！

◆タイトルを連続して再生できません。
◆複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生（46ページ）してください。
◆DVDでは、ディスクによりサーチ機能を禁止しているものがあり、その場合は 🚫 マークが画面に出ます。
◆ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。

準備　基本操作　お好みに合わせた各種の設定　応用操作　その他

チャプター１　チャプター２　チャプター３　チャプター４

見たい場面を探す（チャプター／トラック／タイムサーチ）

直接数字ボタンを押す方法と、チャプター／タイムボタンを押してから数字ボタンを押す方法の２通りあります。

数字ボタンで探す

数字ボタンを押す

例①チャプター／トラックの３を選ぶとき

［3］

例②チャプター／トラックの17を選ぶとき

［+10］ → ［7］

チャプター／タイムボタンで探す

1　［CHP/TIME］を押す

● チャプター / トラック番号が点滅します。
● DVDでは、停止中はメニューが表示される場合があります。この場合は右の"メニューでチャプター番号を探す"を参照してください。

2　チャプター／トラック番号を数字ボタンで指定する

例①チャプター／トラックの31を選ぶとき

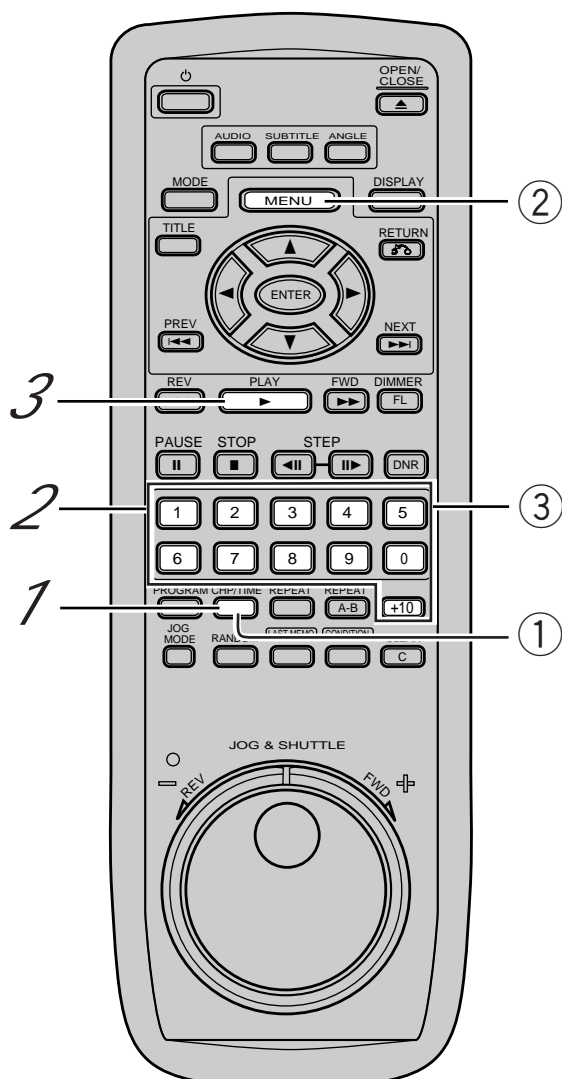
［3］ → ［1］

例②チャプター187を選ぶとき

［1］ → ［8］ → ［7］

3　［PLAY ►］を押す

● 指定したチャプター / トラックを再生します。

メモ

● 点滅中のタイトル、チャプター / トラック／タイムの表示を消すには、［CLEAR C］を２回押してください。
● ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに［MENU］を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

DVD では…

メニューでチャプター番号を探す

① CHP/TIME を押す

● 停止中は手順③へ進んでください。

② MENU を押す

● チャプターのメニューが表示されます。

③ 数字でチャプターを選ぶ

● タイトルによってメニューは表示されない場合があります。この場合は左記の方法で操作します。

時間で探す（タイムサーチ）

1 CHP/TIME を 2 回押す

チャプター 0 → タイム 0.00

● チャプターのないDVDの場合は、1回押すとタイム表示になります。

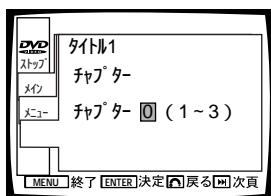
2 数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する

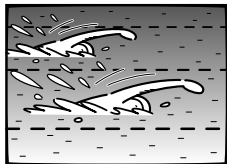
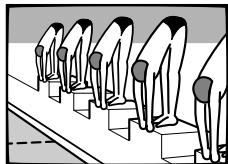
例 21分43秒の場合

2 → 1 → 4 → 3

● DVD ではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

3 PLAY ► を押す

● 指定したタイムナンバーの画面から再生します。

注意！

◆ CD ではタイムサーチできません。
◆ DVDでは、ディスクによっては機能しないことがあり、そのときは画面に マークが出ます。
◆ DVD、ビデオCDのタイムサーチはタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
◆ DVD では、停止中のタイムサーチはできません。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時には、上記操作によるサーチはできません。

希望の順番に並べ換えて再生する（プログラム再生）

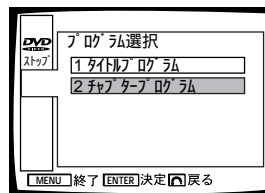
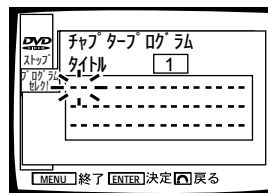
DVD では…

プログラムの設定

最大 24 ステップまでプログラムできます。

1 PROGRAM を押す

2 数字ボタンを押してプログラムの種類を選び、ENTER を押す

● タイトルを選んだときは、手順 4 へ進みます。

3 チャプターを選んだときは、プログラムするチャプターがあるタイトルを を押して、タイトルに合わせてから、数字ボタンで選ぶ

4 数字ボタンでDVDのタイトルまたはチャプターを選ぶ

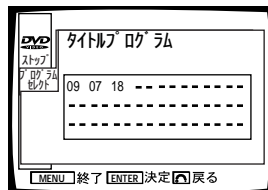
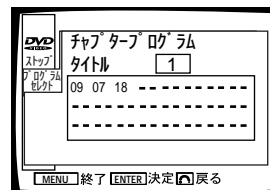
例　9 → 7 → 18 の順に設定する場合

 → → →

DVD のタイトル

DVD のチャプター

5 ENTER を押す

● 設定した順に再生します。
● プログラム再生を止めるには STOP を押します。

注意！

◆ビデオ CD の PBC 再生時には、プログラムできません。
◆チャプターの移り変わりのときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
◆DVDの場合、ディスクによっては、プログラムできないディスクがあります。そのようなディスクでプログラムすると、画面に マークが表示されます。
◆チャプタープログラムは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムできます。

CD、ビデオ CD では…

プログラムの設定

最大 24 ステップまでプログラムできます。

① PROGRAM を押す

② 数字ボタンでトラックを選ぶ

9 曲目→ 7 曲目→ 18 曲目の順に設定する場合。

数字ボタンを順番に押します。

③ ENTER を押す

● 設定した順に再生します。
● プログラム再生を止めるには STOP を押します。

一時停止（ポーズ）をプログラムする

数字ボタンのかわりに PAUSE を押す

●画面では「II」を表示し、ポーズがプログラムできます。

数字ボタンを押し間違えたとき

CLEAR を押し、正しい数字ボタンを押す

プログラムの確認、追加、削除のしかた

確認する

PROGRAM を押す

● CD、ビデオ CD ではプログラムの確認ができます。

DVD ではさらに △ ▽ でプログラムの種類を選び、ENTER を押す

● 1 タイトルプログラム、2 チャプタープログラムどちらかを選びます。
● DVD ではプログラムの確認ができます。

追加する

1 PROGRAM を押す

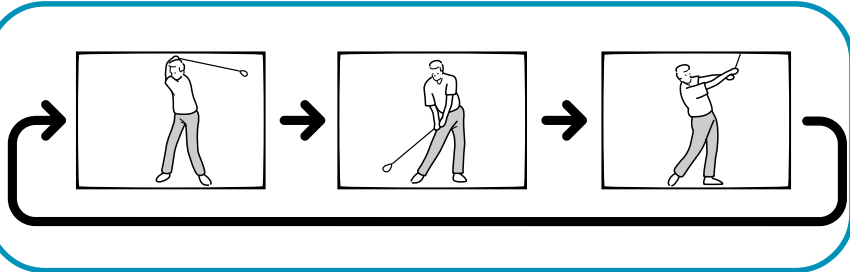
2 数字ボタンを押し、PROGRAM を押す

削除する

1 PROGRAM を押す

2 ◁ ▷ でプログラムを選び、CLEAR を押す

● ディスクテーブルを開いても、プログラムはすべて消えます。
● 停止中に CLEAR を押すと、プログラムはすべて消えます。

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

繰り返し見る・聞く（リピート再生）

チャプター / トラックをリピート再生する

繰り返したいチャプターや曲の再生中に REPEAT を1回押す

1つのタイトルをリピート再生する

繰り返したいタイトルの再生中に REPEAT を2回押す

- DVDでは、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
- CD、ビデオCDでは、ディスク1枚が1つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。

PLAY

REPEAT

REPEAT A-B

指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい箇所の始めと終わりで REPEAT A-B を押す

指定した場所に戻る

1 希望の場所で REPEAT A-B を押す

2 戻りたい時に PLAY ► を押す

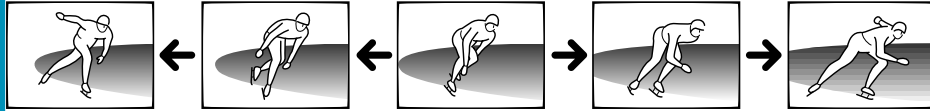
- 指定した場所を取り消すには、CLEAR C を押します。

注意！

◆DVDの場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。その場合は マークが画面に出ます。

◆ビデオCDのPBC再生時には、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生（23ページ参照）してから REPEAT を押してください。

メモ

- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムを繰り返し再生します。
- リピート再生を止めるには、CLEAR C を押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。
- DVDではタイトルをまたいだ繰り返し再生はできません。

静止画／スロー再生／コマ送り

静止画再生ー画像を止めて見る

PAUSE ［II］を押す

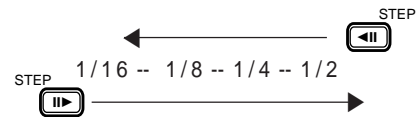
● 本体前面では▶/IIボタンを押します。
● DVD で静止画がブレるときは、35 ページを参照し、「フィールド」に設定してください。

スロー再生ースローにして見る

再生中に STEP［◀II］ または STEP［II▶］ を押しつづける

STEP［II▶］：スロー再生になります。

スロー再生中は、STEP［◀II］ と STEP［II▶］ でスロー再生スピードを調整できます。

DVD の再生中に STEP［◀II］ を押し続ける。

STEP［◀II］：逆方向にスロー再生します。

コマ送り再生ー画像を 1 コマずつ見る

2 つの方法があります。

その①

1 PAUSE［II］ボタンを押す

2 STEP［◀II］ または STEP［II▶］ を押す

例 STEP［II▶］：押すごとに 1 コマずつ進みます。

STEP［◀II］：押すごとに少しずつ戻ります。（DVD のみ）

その②

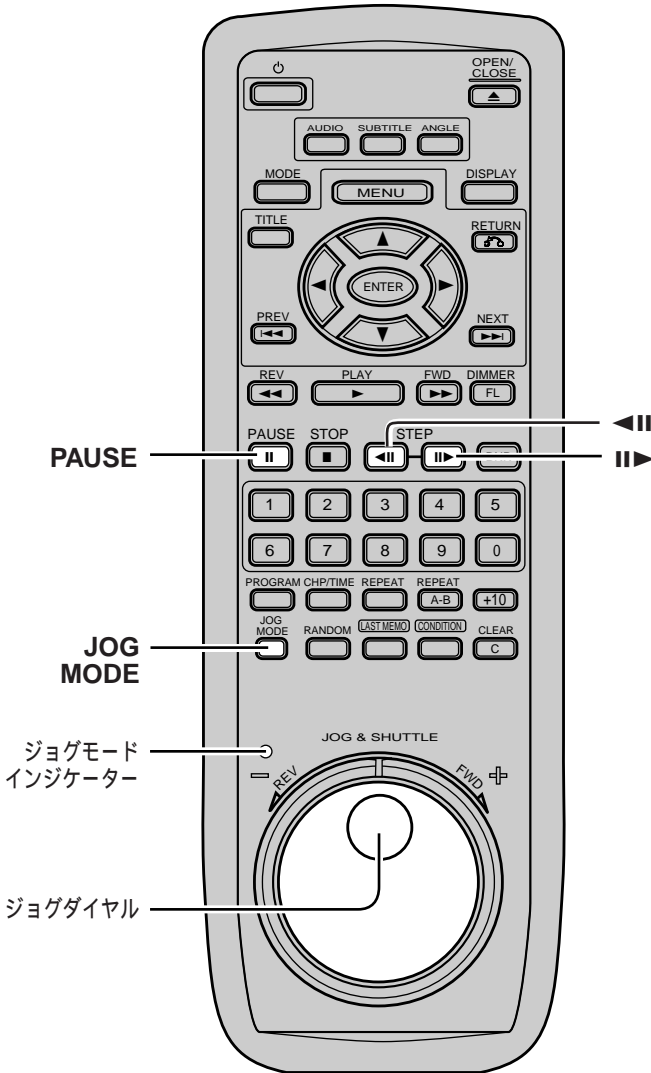
コマ送りからふつうの速度まで少しずつスピードが変わります。

① JOG MODE［ ］を押す。

● リモコンのジョグモードインジケーターが点灯します。

② （ジョグダイヤル）をゆっくり回す。

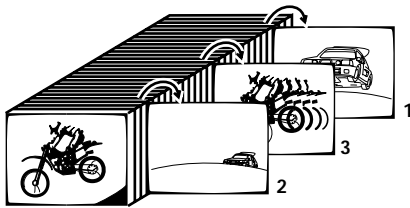
FWD ⟶ ：回すごとに 1 コマずつ進みます。
REV ⟵ ：回すごとに少し戻ります。
ビデオ CD はできません。

● 回転を止めると静止画再生になります。
● ジョグを回す速さによってスロー再生することができます。（ジョグを回している間のみ。）

注意！

◆静止画、コマ送り、スロー再生中の音声は聞こえません。
◆ディスクによっては、一時停止、コマ送り、スロー再生できないディスクもあります。その場合は ⊘ マークが画面に出ます。

メモ

●普通の再生に戻すには、PLAY［▶］（本体の場合は▶/II ボタン）を押します。

準備 基本操作 お好みに合わせた各種の設定 応用操作 その他

順不同で再生する（ランダム再生）

DVDでは…

1つのタイトル内のチャプターをランダム再生する

RANDOM を1回押し、ENTER を押す

● 画面に「ランダムチャプター」と表示し、タイトル内のチャプターを順不同に再生します。

タイトルをランダム再生する

RANDOM を2回押し、ENTER を押す

● 画面に「ランダムタイトル」と表示し、タイトルを順不同に再生します。

CD、ビデオCDでは…

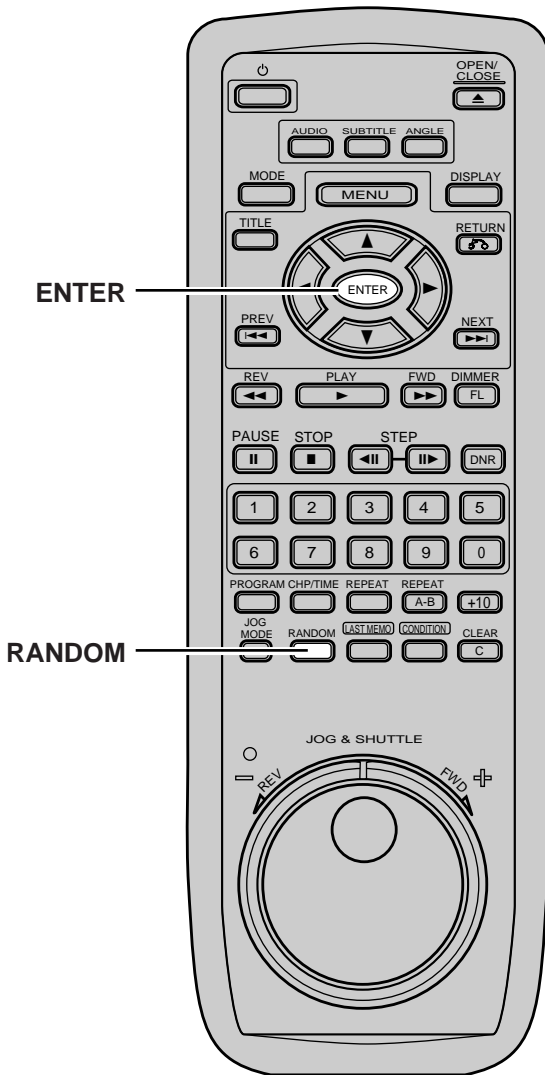
RANDOM を押す

● 画面に「ランダム」と表示し、順不同に再生します。

● NEXT を押すと、プレーヤーが次の曲または場面を選んで再生します。
● PREV を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

ランダム再生を止める

CLEAR を押す

● 通常再生に戻り、現在再生されているチャプター／トラックのあとを順番に再生していきます。

注意！

◆ビデオCDのPBC再生時には、ランダム再生できません。ランダム再生をするには、メニューを出さずに再生（23ページ参照）してから RANDOM を押してください。
◆プログラムした内容をランダムに再生することはできません。
◆DVDの場合、ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
◆ランダム再生を繰り返し再生することはできません。

その他

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので､本機を持ち上げたり動かしたりしないでください｡ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり､引っ越しなどで梱包する場合は､必ずディスクを取り出し､OPEN/CLOSE ⏏ボタンを押して､ディスクテーブルを閉じてから、電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」が消えスタンバイインジケーターが点灯してから電源コードを抜いてください｡ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因になります。

■設置する場所

- ●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所は避けてください

- ●直射日光のあたる所
- ●湿気の多い所や風通しの悪い場所
- ●極端に暑い所や寒い所
- ●振動のある所
- ●ほこりの多い所
- ●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

本機の上に**ものをのせない**でください。

■通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド､ソファーの上などで使用したり､本機を布などでくるんで使用しないでください｡放熱を妨げ､故障の原因となります。

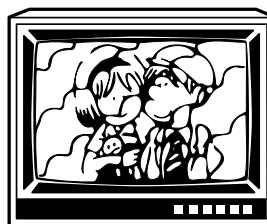
■熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。
ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため､アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ⏏ボタンを押して､ディスクテーブルを開けないでください｡強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により､本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが､本機やテレビの故障ではありません｡このような場合は本機の電源を切ってください。
ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

製品のお手入れについて

通常は､柔らかい布で空拭きしてください｡汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください｡また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも､キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は､化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください｡お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ●リージョン NO. が一致していない。 ● 本機の内部が結露している。	p.8 p.22 p.55 p.8
	2. 再生できない。	● PAL 方式や SECAM 方式のディスクでは再生できません。 ● ディスクを表裏逆に入れている。	
映像	3. マークが画面に出る。	●ディスク自体が禁止している操作です。	
	4. マークが画面に出る。	● プレーヤーがその操作を禁止しています。	
	5. 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	● 一度停止（■ ボタンを押す）してから、もう一度再生してください。	
	6. 設定内容が消える。	● 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。 また、電源コードを抜くときは、必ず本体の電源スイッチまたはリモコンの ⏻ ボタンを押して表示窓の「-off-」表示が消えてから行ってください。	
	7. 画面が映らない。	● 接続が間違っている。 ● テレビまたは AV アンプの操作（設定）が合っていない。	
	8. 画面が伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	● マルチアスペクトの設定が合っていない。	p.32
	9. DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
	10. DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
リモートコントロール	11. リモコンで操作できない。	● 背面パネルのコントロール入力端子と接続している。 ● 本機と離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ● リモコンの電池が消耗している。	p.13-14
	12. テレビなどが誤動作する。	● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
音声	13. 音が出ない、音が歪む。	● デジタル出力のリニアPCMの設定が96kHzに設定されている。ディスクによっては、デジタル出力を禁止しているものがあります。 ● ディスクが汚れている。 ● 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ● 接続プラグや端子が汚れている。 ● 音声ケーブルの接続が間違っている。 ● ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。 ● 一時停止になっている。 ● ステレオアンプの操作が間違っている。（とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、AUX 等）確認してください。） ● DTS 音声の収録されている DVD を再生している。	p.33 p.12 p.33
	14. DVD と CD で音量差を感じる。	● DVDとCDで音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。	

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常になる場合があります。これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

用語

ドルビーデジタル(AC-3)

ドルビーデジタル（AC-3）は最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY DIGITAL

ドルビーデジタル(AC-3)ディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子（同軸または光どちらでも可）をドルビーデジタル（AC-3）搭載アンプやプロセッサーのデジタル入力端子へ接続することが必要です。

PCM

Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDやDVDのデジタル音声がPCMです。

DTS

DTSはドルビーデジタル(AC-3)と異なるサラウンドシステムの1つです。DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子(同軸または光どちらでも可)をアンプやプロセッサーのDTS入力端子へ接続することが必要です。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画像圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

Virtual Dolby Surround** TruSurround with SRS

2つのスピーカで仮想的にサラウンドを楽しむことができます。36ページ「立体感のある音場に切り換える」でオンを選んでください。

タイトルナンバー

映画などでいうタイトルのことです。DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる3つの映画が記録されていますと、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

レガート・リンクコンバージョン

ディスクに記録される音声信号の周波数は、20kHzを上限としていますが、自然界の音や、楽器に含まれる音楽成分にはこれを超える周波数成分も含まれており、本当の意味でオリジナルの信号波形そのものがディスクに記録されているとは言えません。「レガート・リンクコンバージョン」はディスクに記録された信号をもとに記録前の信号を想定し、原音により近い音楽再生を実現する技術です。

チャプターナンバー

ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

TOC

音声信号以外のTOC（Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

** バーチャル技術として、SRS社のTruSurround方式 TruSurround with SRS を採用しています。
TruSurroundは SRS Labs, Inc. の商標です。SRSとSRS のマークは米国およびその他数ヵ国における SRS Labs, Inc の登録商標です。
TruSurround の技術は、SRS Labs, Inc. によって使用許諾が登録されています。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

パレンタルレベル
英語の綴りでは、PARENTAL（パレンタル）です。これは、PARENT（ペアレント）（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー
コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

マルチ言語字幕
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません
●本機のリージョンNO.は後面部に表記されています。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）

ダイナミックレンジ
ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

S2映像出力
S2とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)と画像信号形態（スクイーズ、レターボックス）の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り替わります。

コンポーネント出力
Y、C_B、C_Rの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

言語コード表

言語表記はISO639:1988(E/F)に準拠(1998年8月現在)

・ 31ページ参照

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Japanese	ja	10	01
English	en	05	14
French	fr	06	18
German	de	04	05
Italian	it	09	20
Spanish	es	05	19
Dutch	nl	14	12
Russian	ru	18	21
Chinese	zh	26	08
Korean	ko	11	15
Greek	el	05	12
Afar	aa	01	01
Abkhazian	ab	01	02
Afrikaans	af	01	06
Amharic	am	01	13
Arabic	ar	01	18
Assamese	as	01	19
Aymara	ay	01	25
Azerbaijani	az	01	26
Bashkir	ba	02	01
Belorussian	be	02	05
Bulgarian	bg	02	07
Bihari	bh	02	08
Bislama	bi	02	09
Bengali, Bangla	bn	02	14
Tibetan	bo	02	15
Breton	br	02	18
Catalan	ca	03	01
Corsican	co	03	15
Czech	cs	03	19
Welsh	cy	03	25
Danish	da	04	01
Bhutani	dz	04	26
Esperanto	eo	05	15
Estonian	et	05	20
Basque	eu	05	21
Persian	fa	06	01
Finnish	fi	06	09

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Fiji	fj	06	10
Faroese	fo	06	15
Frisian	fy	06	25
Irish	ga	07	01
Scottish Gaelic	gd	07	04
Galician	gl	07	12
Guarani	gn	07	14
Gujarati	gu	07	21
Hausa	ha	08	01
Hindi	hi	08	09
Croatian	hr	08	18
Hungarian	hu	08	21
Armenian	hy	08	25
Interlingua	ia	09	01
Interlingue	ie	09	05
Inupiak	ik	09	11
Indonesian	in	09	14
Icelandic	is	09	19
Hebrew	iw	09	23
Yiddish	ji	10	09
Javanese	jw	10	23
Georgian	ka	11	01
Kazakh	kk	11	11
Greenlandic	kl	11	12
Cambodian	km	11	13
Kannada	kn	11	14
Kashmiri	ks	11	19
Kurdish	ku	11	21
Kirghiz	ky	11	25
Latin	la	12	01
Lingala	ln	12	14
Laothian	lo	12	15
Lithuanian	lt	12	20
Latvian, Lettish	lv	12	22
Malagasy	mg	13	07
Maori	mi	13	09
Macedonian	mk	13	11
Malayalam	ml	13	12

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Mongolian	mn	13	14
Moldavian	mo	13	15
Marathi	mr	13	18
Malay	ms	13	19
Maltese	mt	13	20
Burmese	my	13	25
Nauru	na	14	01
Nepali	ne	14	05
Norwegian	no	14	15
Occitan	oc	15	03
(Afan) Oromo	om	15	13
Oriya	or	15	18
Panjabi	pa	16	01
Polish	pl	16	12
Pashto, Pushto	ps	16	19
Portuguese	pt	16	20
Quechua	qu	17	21
Rhaeto-Romance	rm	18	13
Kirundi	rn	18	14
Romanian	ro	18	15
Kinyarwanda	rw	18	23
Sanskrit	sa	19	01
Sindhi	sd	19	04
Sangho	sg	19	07
Serbo-Croatian	sh	19	08
Singhalese	si	19	09
Slovak	sk	19	11
Slovenian	sl	19	12
Samoan	sm	19	13
Shona	sn	19	14
Somali	so	19	15
Albanian	sq	19	17
Serbian	sr	19	18
Siswati	ss	19	19
Sesotho	st	19	20
Sundanese	su	19	21
Swedish	sv	19	22
Swahili	sw	19	23

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Tamil	ta	20	01
Telugu	te	20	05
Tajik	tg	20	07
Thai	th	20	08
Tigrinya	ti	20	09
Turkmen	tk	20	11
Tagalog	tl	20	12
Setswana	tn	20	14
Tonga	to	20	15
Turkish	tr	20	18
Tsonga	ts	20	19
Tatar	tt	20	20
Twi	tw	20	23
Ukrainian	uk	21	11
Urdu	ur	21	18
Uzbek	uz	21	26
Vietnamese	vi	22	09
Volapük	vo	22	15
Wolof	wo	23	15
Xhosa	xh	24	08
Yoruba	yo	25	15
Zulu	zu	26	21

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

53ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：
- 品名　DVD プレーヤー
- 品番　DV-S5
- お買上げ日
- 故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- 電話番号
- 訪問ご希望日

保証期間中は：

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

一般

形式 ………… DVD、ビデオ CD およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 ………… AC100V、50/60Hz
消費電力 ………… 18W
スタンバイ時消費電力 ………… 1.5W
本体質量 ………… 6.4kg
外形寸法. 420（幅）× 371 ×（奥行）× 128（高さ）mm
許容動作温度 ………… ＋ 5℃～＋ 35℃
許容動作湿度 ………… 5%～ 85%（結露のないこと）

S 2 映像出力＜ 2 系統＞

Y 出力レベル ………… 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル ………… 286mVp-p（75 Ω）
出力端子 ………… S 端子

映像出力＜ 2 系統＞

出力レベル ………… 1Vp-p（75 Ω）
出力端子 ………… ピンジャック

コンポーネント映像出力＜ 1 系統＞

(Y, C_B, C_R)
出力レベル ………… Y:1.0 Vp-p（75 Ω）
C_B, C_R: 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ………… ピンジャック

音声出力＜ 2 系統＞

出力レベル
　音声出力 ………… 200mVrms（1kHz、－ 20dB）
チャンネル数 ………… 2 チャンネル
出力端子 ………… ピンジャック

デジタル音声特性（DVD　fs=96 kHz、24bit 時）

周波数特性	4Hz ～ 44kHz(DVD)
SN 比	115dB
ダイナミックレンジ	105dB
全高調波歪率	0.002%
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下

その他の端子

光デジタル出力 ………… 光コネクター
同軸デジタル出力 ………… ピンジャック
コントロール入力／出力 ………… ミニジャック（3.5 φ）

付属品

リモコンユニット ………… 1
単 3 形乾電池（R6P）………… 2
オーディオコード ………… 1
ビデオコード ………… 1
電源コード ………… 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 ………… 各 1
●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

- ● ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口　**0070-800-818111**
- ● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口　**0070-800-818122**
- ● カタログのご請求に関する窓口　**0070-800-818133**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
- **・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **・電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **・電気が入ったり切れたりする。**
- **・本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	**住所** **電話番号**	**お近くのご相談窓口**	**住所** **電話番号**
ご購入年月日	**年　月　日**	**型　番**	**この機種は DV-S5 です**

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<98H00WF0Z01>　<VRA1148-A>